

平成 29 年度内閣府委託事業

# 男女の健康意識に関する調査報告書

平成 30 年 3 月

楽天リサーチ株式会社



## 目次

第1章 調査の目的と概要 .....	1
1 調査目的・趣旨 .....	1
2 調査の実施概要 .....	1
(1) 国民生活基礎調査からみる健康に関する実態(特別集計) .....	1
(2) 男女の健康意識に関する調査 .....	4
3 報告書を見る際の注意点 .....	6
第2章 調査結果の概要 .....	8
第3章 国民生活基礎調査からみる健康に関する実態(特別集計) .....	10
1 通院しながら働いている人の健康に関する実態 .....	10
(1) 通院しながら働いている人の割合の推移 .....	10
(2) 通院している人と傷病の関係 .....	11
2 就業状況と健康に関する実態 .....	13
(1) 健診の受診状況 .....	13
(2) がん検診の受診状況 .....	17
3 介護しながら働いている人の実態 .....	22
(1) 同居の主な介護者の就業形態と性別の関係 .....	22
第4章 男女の健康意識に関する調査の結果 .....	23
1 日ごろの不調に関する状況 .....	23
(1) 現在抱えている病気やけが等の不調 .....	23
(2) 月経に関わる不調の状況 .....	24
(3) 肩こり、ほてり、発汗等の更年期障害に関する症状 .....	25
2 傷病等に関する状況 .....	26
(1) 通院ありの者の傷病 .....	26
(2) 傷病ごとの通院の頻度 .....	27
(3) 通院期間 .....	29
(4) 治療の状況 .....	30
3 仕事と治療の両立に関する状況 .....	31
(1) 通院頻度の最も多い傷病の罹患時の就業状況 .....	31
(2) 通院頻度の最も多い傷病罹患後の就業状況 .....	32
(3) 通院頻度の最も多い傷病の治療に際する離職検討の有無 .....	33
(4) 治療しながら働く際に利用している制度 .....	34
(5) 現在の仕事と治療の両立状況についての評価 .....	35
(6) 自身の体調に対する上司や同僚の理解の有無 .....	36
(7) 治療と仕事の両立における課題 .....	37

(8) 疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったこと .....	38
第5章 資料編 .....	39
1 国民生活基礎調査から見る健康に関する実態(特別集計) 集計表 .....	39
2 男女の健康意識に関する調査 調査票 .....	53

## 第1章 調査の目的と概要

### 1 調査目的・趣旨

自らが希望する形で働き、家庭生活を送るうえで、健康はその基盤となるものである。本調査は、男女が、社会生活の中で直面する健康上の課題と支援策を、性差を踏まえた形で把握し、男女の健康を巡る現下の課題等が、治療や介護と仕事の両立という働き方にどのように影響を与えているか分析することを目的とする。

具体的には、治療や介護と仕事の両立を中心に健康と仕事にまつわる関係について、特に就業状況（正規の職員、非正規の職員など）を軸に国民生活基礎調査の特別集計より実態の把握を行う。また、インターネット・モニター調査により、通院と仕事の両立の現状や課題、男女の日ごろの健康状態や意識をとらえる。

なお、平成30年版男女共同参画白書の特集編「スポーツにおける女性の活躍と男女の健康支援」において、特に「男女の健康支援」の基礎資料として本調査結果の一部を利用している。

### 2 調査の実施概要

本事業は、(1) 公的統計の個票を用いた集計・分析、(2) インターネット・モニターによる個人の意識調査の2つの調査を実施した。

#### (1) 国民生活基礎調査からみる健康に関する実態（特別集計）

##### ① 実施方法

厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成16(2004)年、平成19(2007)年、平成22(2010)年、平成25(2013)年、平成28(2016)年(大規模調査年))の世帯票、健康票、介護票の結果を用いて、集計・分析を行った。集計に用いた調査票の情報項目は下記の通りである。各年の通院の有無、健康意識、健診の受診状況、介護しながら働く者の状況等について、時系列での変化が把握できるよう集計・分析を行った。

表1.1.国民生活基礎調査の集計・分析に用いた調査票情報項目

世帯票	健康票	介護票
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・年齢</li><li>・仕事の有無</li><li>・勤めか自営かの別</li><li>・勤め先での呼称</li><li>・手助け要否</li><li>・要介護認定</li><li>・主な介護者の同別居</li><li>・主な介護者の続柄</li><li>・主な介護者の性</li><li>・主な介護者の年齢</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・通院の有無</li><li>・最も気になる傷病</li><li>・健康意識</li><li>・飲酒状況</li><li>・喫煙状況</li><li>・健診受診の有無</li><li>・健診を受けなかった理由</li><li>・がん検診受診状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・要介護度の状況 (現在)</li><li>・介護が必要となった主な原因</li><li>・主な介護者の同別居</li><li>・主な介護者の続柄</li><li>・主な介護者の性</li><li>・主な介護者の年齢</li><li>・主な介護者の介護時間</li></ul>

以下、本報告書において示す集計結果は、各設問の回答数に「拡大乗数（ウエイト）」を乗じ全国規模の集計としたものである。ただし、平成 28 年は熊本地震の影響により、熊本県は調査の実施を見合わせたため、熊本県が含まれない数値となっている。

## ② 国民生活基礎調査の基本情報

### ● 性別・年代別の基本情報

表1.2.男性・年代別の基本情報

(千人)

	15～19 歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳 以上
平成 28 年 (n=51,145)	3,035 5.9%	4,899 9.6%	6,650 13.0%	8,897 17.4%	7,743 15.1%	9,464 18.5%	6,810 13.3%	3,647 7.1%
平成 25 年 (n=51,791)	3,073 5.9%	5,560 10.7%	7,580 14.6%	8,550 16.5%	7,761 15.0%	9,407 18.2%	6,750 13.0%	3,110 6.0%
平成 22 年 (n=51,726)	3,040 5.9%	5,915 11.4%	8,139 15.7%	8,130 15.7%	8,399 16.2%	9,209 17.8%	6,161 11.9%	2,734 5.3%
平成 19 年 (n=51,867)	3,253 6.3%	6,461 12.5%	8,787 16.9%	7,698 14.8%	9,333 18.0%	8,202 15.8%	5,806 11.2%	2,329 4.5%
平成 16 年 (n=51,642)	3,514 6.8%	7,055 13.7%	8,399 16.3%	7,793 15.1%	9,490 18.4%	8,129 15.7%	5,390 10.4%	1,873 3.6%

(備考) 表側の「n値」及び表中の数値は、「拡大乗数(ウエイト)」を乗じた数値である。

表1.3.女性・年代別の基本情報

(千人)

	15～19 歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳 以上
平成 28 年 (n=56,153)	3,019 5.4%	4,955 8.8%	6,817 12.1%	9,225 16.4%	8,067 14.4%	10,162 18.1%	7,991 14.2%	5,918 10.5%
平成 25 年 (n=57,026)	2,982 5.2%	5,585 9.8%	7,848 13.8%	8,956 15.7%	8,153 14.3%	10,181 17.9%	8,027 14.1%	5,295 9.3%
平成 22 年 (n=56,645)	2,969 5.2%	6,000 10.6%	8,497 15.0%	8,437 14.9%	8,768 15.5%	9,887 17.5%	7,296 12.9%	4,790 8.5%
平成 19 年 (n=56,246)	3,085 5.5%	6,543 11.6%	9,045 16.1%	7,988 14.2%	9,726 17.3%	8,755 15.6%	9,683 12.4%	4,122 7.3%
平成 16 年 (n=56,211)	3,423 6.1%	7,177 12.8%	8,708 15.5%	7,982 14.2%	9,808 17.4%	8,830 15.7%	6,745 12.0%	3,536 6.3%

(備考) 表側の「n値」及び表中の数値は、「拡大乗数(ウエイト)」を乗じた数値である。

●仕事の有無別の基本情報

表1.4.男性・仕事の有無別の基本情報（15歳以上）

（千人）

	仕事あり			仕事なし		
	正規の 職員・従業員	非正規の 職員・従業員	その他の 就業形態	通学	家事	その他
平成 28 年 (n=49,018)	20,119 41.0%	5,574 11.4%	8,127 16.6%	3,165 6.5%	1,379 2.8%	10,655 21.7%
平成 25 年 (n=49,798)	20,543 41.3%	5,487 11.0%	8,172 16.4%	3,312 6.7%	1,160 2.3%	11,124 22.3%
平成 22 年 (n=49,754)	19,129 38.4%	4,985 10.0%	10,720 21.5%	3,313 6.7%	914 1.8%	10,693 21.5%
平成 19 年 (n=50,124)	20,018 39.9%	4,735 9.4%	11,174 22.3%	3,485 7.0%	578 1.2%	10,134 20.2%
平成 16 年 (n=50,669)	21,388 42.2%	3,603 7.1%	10,449 20.6%	3,870 7.6%	523 1.0%	10,836 21.4%

(備考) 1.表側の「n値」及び表中の数値は、「拡大乗数(ウエイト)」を乗じた数値である。

2.「非正規の職員・従業員」は、世帯票「勤め先の呼称」におけるパート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託、その他の合計である。

3.「その他の就業形態」は、世帯票「勤めか自営かの別」における会社・団体等の役員、自営業主（雇人あり・なし）、家族従業者、内職、その他の合計である。

表1.5.女性・仕事の有無別の基本情報（15歳以上）

（千人）

	仕事あり			仕事なし		
	正規の 職員・従業員	非正規の 職員・従業員	その他の 就業形態	通学	家事	その他
平成 28 年 (n=54,591)	9,215 16.9%	12,624 23.1%	4,922 9.0%	3,028 5.5%	18,082 33.1%	6,720 12.3%
平成 25 年 (n=55,519)	9,082 16.4%	12,394 22.3%	5,013 9.0%	3,062 5.5%	18,821 33.9%	7,147 12.9%
平成 22 年 (n=55,226)	8,575 15.5%	11,475 20.8%	6,446 11.7%	2,971 5.4%	18,952 34.3%	6,807 12.3%
平成 19 年 (n=54,813)	8,547 15.6%	10,809 19.7%	7,098 12.9%	3,126 5.7%	18,608 33.9%	6,624 12.1%
平成 16 年 (n=55,196)	8,988 16.3%	9,394 17.0%	6,731 12.2%	3,459 6.3%	18,906 34.3%	7,719 14.0%

(備考) 1.表側の「n値」及び表中の数値は、「拡大乗数(ウエイト)」を乗じた数値である。

2.「非正規の職員・従業員」は、世帯票「勤め先の呼称」におけるパート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託、その他の合計である。

3.「その他の就業形態」は、世帯票「勤めか自営かの別」における会社・団体等の役員、自営業主（雇人あり・なし）、家族従業者、内職、その他の合計である。

(2) 男女の健康意識に関する調査

① 調査対象及び調査方法

(i) スクリーニング調査

まずは、インターネット・モニターに対して、スクリーニング調査（Web アンケート）を実施し、全国 20 歳以上の男女で有職の 16,408<sup>1</sup>件を対象に、性別、年代、通院の有無、傷病名、通院頻度について尋ねる調査を実施し、本調査の対象を下記のように選定した。

表1.6.調査対象者の性別・年代

	20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計
男性	437	563	500	500	500	2,500
	17.5%	22.5%	20.0%	20.0%	20.0%	50.0%
女性	500	500	500	500	500	2,500
	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
合計	937	1,063	1,000	1,000	1,000	5,000
	18.7%	21.3%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%

表1.7.調査対象の性別・年代別・通院の有無

		20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計
通院あり	男性	187	313	250	250	250	1,250
		15.0%	25.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
通院あり	女性	250	250	250	250	250	1,250
		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
通院なし	男性	250	250	250	250	250	1,250
		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
通院なし	女性	250	250	250	250	250	1,250
		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%

(ii) 本調査

スクリーニング調査で抽出した有職<sup>2</sup>の 5,000 件を対象に、傷病の有無や健診の受診状況、制度の活用状況、がん検診の受診状況、家族等の介護の有無などについて尋ねる本調査を実施した。なお、有職で通院ありの者とは、5大疾病（悪性新生物（がん）、脳卒中（脳出血、脳梗塞）、狭心症・心筋梗塞、糖尿病、うつ病やその他こころの病気）、女性が罹患しやすい疾病（関節リウマチ、骨粗しょう症、バセドウ病・橋本病、更年期障害、不妊症、性感染症、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫、月経困難症、妊娠・産褥期の傷病、産後うつ）で通院する者である。有職で通院なしの者はいかなる傷病でも通院していない。調査対象の就業形態は下記の通りである。

<sup>1</sup> スクリーニング調査の何らかの傷病で通院している者（有職女性で通院している者 2,088 名）を対象とした結果によると、子宮内膜症で通院している者は、20代では 12.5%、30代では 16.3%、40代では 12.9%、50代は 5.6%である。また、何らかの傷病で通院している女性のうち子宮筋腫で通院している者は、20代は 4.8%、30代では 15.2%、40代で 27.9%、50代は 16.3%である。

<sup>2</sup>通院あり、通院なし共に男性の約 6割、女性の約 5割が従業員規模 100人以上の企業の勤務。



表 1.8.調査対象の性別・通院の有無・就業形態

		正規の職員	非正規の職員 <sup>3</sup>	その他 <sup>4</sup>	合計
通院あり	男性	743 59.4%	274 21.9%	233 18.6%	1,250 100.0%
	女性	458 36.6%	631 50.5%	161 12.9%	1,250 100.0%
通院なし	男性	814 65.1%	210 16.8%	226 18.1%	1,250 100.0%
	女性	515 41.2%	588 47.0%	147 11.8%	1,250 100.0%

調査項目、調査期間は下記の通りである。

① 調査内容

属性、傷病の有無、業務への支障の有無、通院期間、制度の活用状況、仕事と治療を両立させる場合の課題、健診の受診状況、がん検診の受診状況、家族等の介護の有無 等

② 調査期間

平成 29 年 12 月 15 日（金）～12 月 24 日（日）

<sup>3</sup> 非正規の職員は、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託の合計。

<sup>4</sup> その他は、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他の合計。

### 3 報告書を見る際の注意点

#### (1) 数値の見方

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、国民生活基礎調査の特別集計の場合は、各設問の回答者数に「拡大乗数(ウエイト)」を乗じた総数であり、男女の健康意識に関する調査の場合は、各設問に対する回答人数である。
- 百分率(%)の計算は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、単独回答においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- 複数回答においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- 各設問の回答数(n値)は、無回答の者を除いて集計した値となっている。

#### (2) 用語の定義

本報告書では、以下の用語を下記の通りとする。

表1.9.用語一覧

	国民生活基礎調査からみる健康に関する実態(特別集計)	男女の健康意識に関する調査
通院しながら働いている人	15歳以上の世帯員について、世帯票「5月中の仕事の状況」で「1.主に仕事をしている」「2.主に家事で仕事あり」「3.主に通学で仕事あり」「4.その他」かつ健康票「あなたは現在、傷病(病気やけが)で病院や診療所(医院、歯科医院)、あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っていますか。」で「1.通っている」を回答した者。(上記「1.通っている」を国民生活基礎調査では、「通院者」と呼ぶ。また、「通院者」に入院している人は含まれない。)	最近1か月で、収入を伴う仕事を少しでもした者で、かつ「SC3.あなたは現在、傷病(病気やけが)で病院や診療所(医院、歯科医院)、はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っていますか。」で「1.悪性新生物(がん)」「2.脳卒中(脳出血、脳梗塞等)」「3.狭心症・心筋梗塞」「4.糖尿病」「5.うつ病やその他こころの病気」「6.関節リウマチ」「7.骨粗しょう症」「8.バセドウ病・橋本病」「9.更年期障害」「10.不妊症」「11.性感染症」「12.子宮内膜症」「13.子宮筋腫」「14.卵巣嚢腫」「15.月経困難症」「16.妊娠・産褥期の傷病」「17.産後うつ」を回答した者。

	国民生活基礎調査からみる健康に関する実態（特別集計）	男女の健康意識に関する調査
介護しながら働いている人	15歳以上の世帯員について、世帯票「5月中の仕事の状況」で「1.主に仕事をしている」「2.主に家事で仕事あり」「3.主に通学で仕事あり」「4.その他」かつ世帯票「手助けや見守りの要否」で同居者に「1.必要としている」がおり、その介護者となっている者。また「(2)介護者と介護を要する者の関係」以降の部分では、15歳以上の世帯員について、世帯票「5月中の仕事の状況」で「1.主に仕事をしている」「2.主に家事で仕事あり」「3.主に通学で仕事あり」「4.その他」かつ介護票「主に介護する者の同別居」で「1.同居」としており、その介護者となっている者。	—
正規の職員・従業員	世帯票「勤め先の呼称」において「正規の職員・従業員」に該当する者(15歳以上の世帯員)。	「SC2.主な仕事について」において「1.正規の職員・従業員」と回答した者。
非正規の職員・従業員	世帯票「勤め先の呼称」において「パート」「アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他」に該当する者(15歳以上の世帯員)。	「SC2.主な仕事について」において「2.パート」「3.アルバイト」「4.労働者派遣事業所の派遣社員」「5.契約社員」「6.嘱託」に該当する者。
その他の就業形態	世帯票「勤めか自営かの別」において「会社・団体等の役員」「自営業主（雇人あり）」「自営業主（雇人なし）」「家族従業者」「内職」「その他」に該当する者(15歳以上の世帯員)。	「SC2.主な仕事について」において「7.会社・団体等の役員」「8.自営業主（雇人あり）」「9.自営業主（雇人なし）」「10.家族従業者」「11.内職」に該当する者。
仕事なし	世帯票「仕事の有無」において「通学」「家事」「その他（仕事なし）」に該当する者(15歳以上の世帯員)。なお、「通学」、「家事」、「その他(仕事なし)」を合算して、「仕事なし計」と表記する場合もある。	—

## 第2章 調査結果の概要

### 1. 国民生活基礎調査からみる健康に関する実態（特別集計）の概要

#### <通院しながら働いている人の健康に関する実態>

- 男女ともに、正規の職員、非正規の職員等にかかわらず、通院者の割合が年々増加している。
- 通院しながら働いている人のうち平成28年の最も気になる傷病をみると、男性は就業状況に関わらず、「内分泌・代謝障害（糖尿病、脂質異常症等）」「循環器系（高血圧症、狭心症・心筋梗塞等）」「筋骨格系（腰痛症、痛風等）」の傷病が上位である。一方、女性は就業状況に関わらず「循環器系（高血圧症、その他の循環器系の病気）」、「筋骨格系（肩こり症、腰痛症等）」の傷病が共通して上位。他に正規の職員は「歯の病気」、非正規の職員、その他の就業形態では「内分泌・代謝障害（糖尿病、脂質異常症等）」が上位である。

#### <就業状況と健康に関する実態>

- 健診の受診状況については、男性は、正規の職員の「健診を受けた」割合が平成28年で87.9%と平成16年から7.3ポイント増加し、非正規の職員は、同71.6%と同12.7ポイント増加した。女性は、正規の職員の「健診を受けた」割合が平成28年で85.4%と平成16年から8.1ポイント増加し、非正規の職員は、同68.9%と同10.1ポイント増加した。
- がん検診の受診状況については、男女ともに、平成16年からがん検診の受診率が高まっている。男性の正規の職員は平成28年に「肺がん」の受診率が5割。女性の正規の職員は平成28年の「肺がん」の受診率が44.3%、「子宮がん」が40.9%。

#### <介護しながら働いている人の実態>

- 手助けや見守りを要する者と同居している介護者を就業状況別に見ると、平成28年に正規職員の男性は26万人、女性が25万人、非正規職員の男性は14万人、女性は49万人が同居者の介護をしながら働いている。

## 2. 男女の健康意識に関する調査結果の概要

### <傷病等に関する状況>

- 20～30代の相当数が月経に関する何らかの不調を感じている。20代の64.2%、30代の51.8%が月経痛を抱える。
- 40歳以上の男女を対象に更年期障害に関する症状の有無を尋ねた結果を見ると、女性の36.3%（うち、40代は37.8%、50代は54.2%）、男性の19.3%（うち、40代は18.6%、50代は23.4%）が何らかの更年期障害を抱える。
- 現在抱える病気やけがについて尋ねると、通院していない人は、「便秘」「肩こり」「手足が冷える」は、男性に比べて女性の多くが不調を訴えている。

### <仕事と治療の両立に関する状況>

- 何らかの傷病で通院している者（有職女性で通院している者2,088名）を対象とした結果によると、子宮内膜症で通院している者は、20代では12.5%、30代では16.3%、40代では12.9%である。また、何らかの傷病で通院している女性のうち子宮筋腫で通院している者は、30代では15.2%、40代で27.9%である。
- 傷病の罹患直後から1年程度の就業状況をみると、男性の77.7%、女性の76.5%が罹患時と同じ会社・配属先で継続して勤務、もしくは自営業・自由業を継続している。一方で、罹患直後から1年程度での離職の検討の有無をみると、男性の14.2%、女性の15.4%が離職し、検討したが離職しなかった者は、男性は26.3%、女性は22.0%に上る。男女ともに非正規の職員の方が正規の職員・従業員に比べて離職した割合が高い。
- 治療しながら働くうえで利用している制度を尋ねると、男性の30.2%、女性の20.1%が「治療目的の休暇・休業制度」を利用している。また、女性の51.6%は「利用できる制度がない」としており、正規、非正規に関わらず、女性の方が「利用できる制度がない」が高い。
- 治療と仕事を両立するうえで課題と感ずることをみると、男女ともに「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」「時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの両立支援制度がない」「病気や治療について職場で打ち明けづらい雰囲気である」の順に高い。

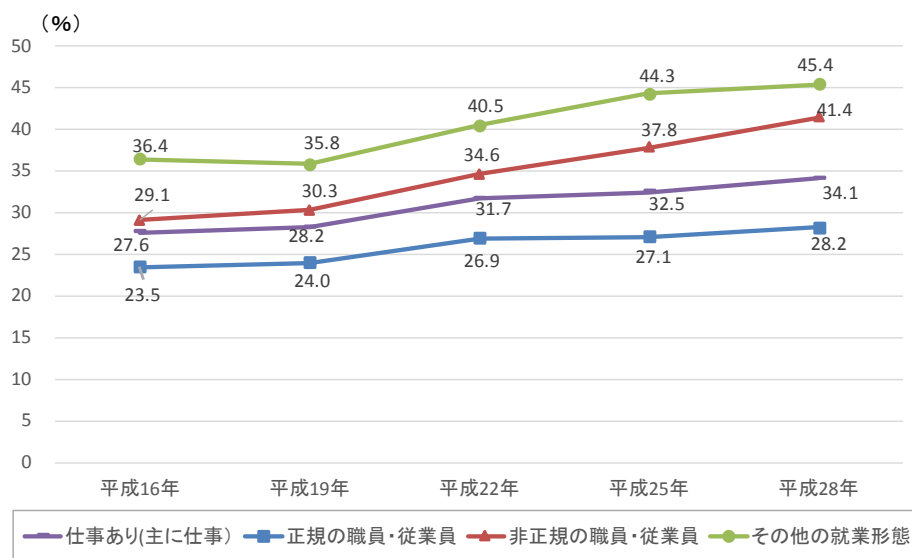
### 第3章 国民生活基礎調査からみる健康に関する実態（特別集計）

#### 1 通院しながら働いている人の健康に関する実態

##### （1）通院しながら働いている人の割合の推移

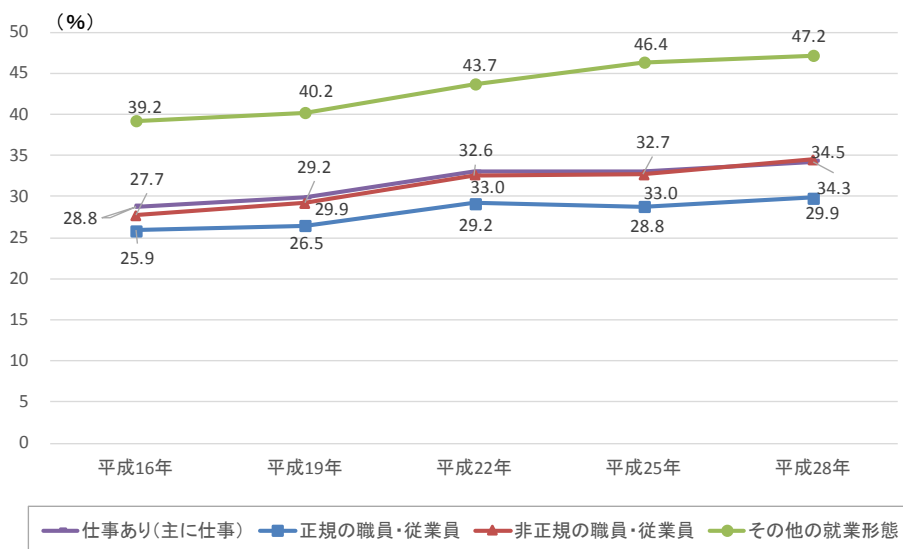
- 男女ともに、正規、非正規の別等にかかわらず、通院している割合が年々増加している。
- 仕事あり（主に仕事）でみても、男女ともに「通院している」の割合が年々増加している。

図3.1. 就業状況別に見た通院者の割合の推移（男性）



（備考）年齢不詳は含まない。

図3.2. 就業状況別に見た通院者の割合の推移（女性）



（備考）年齢不詳は含まない。

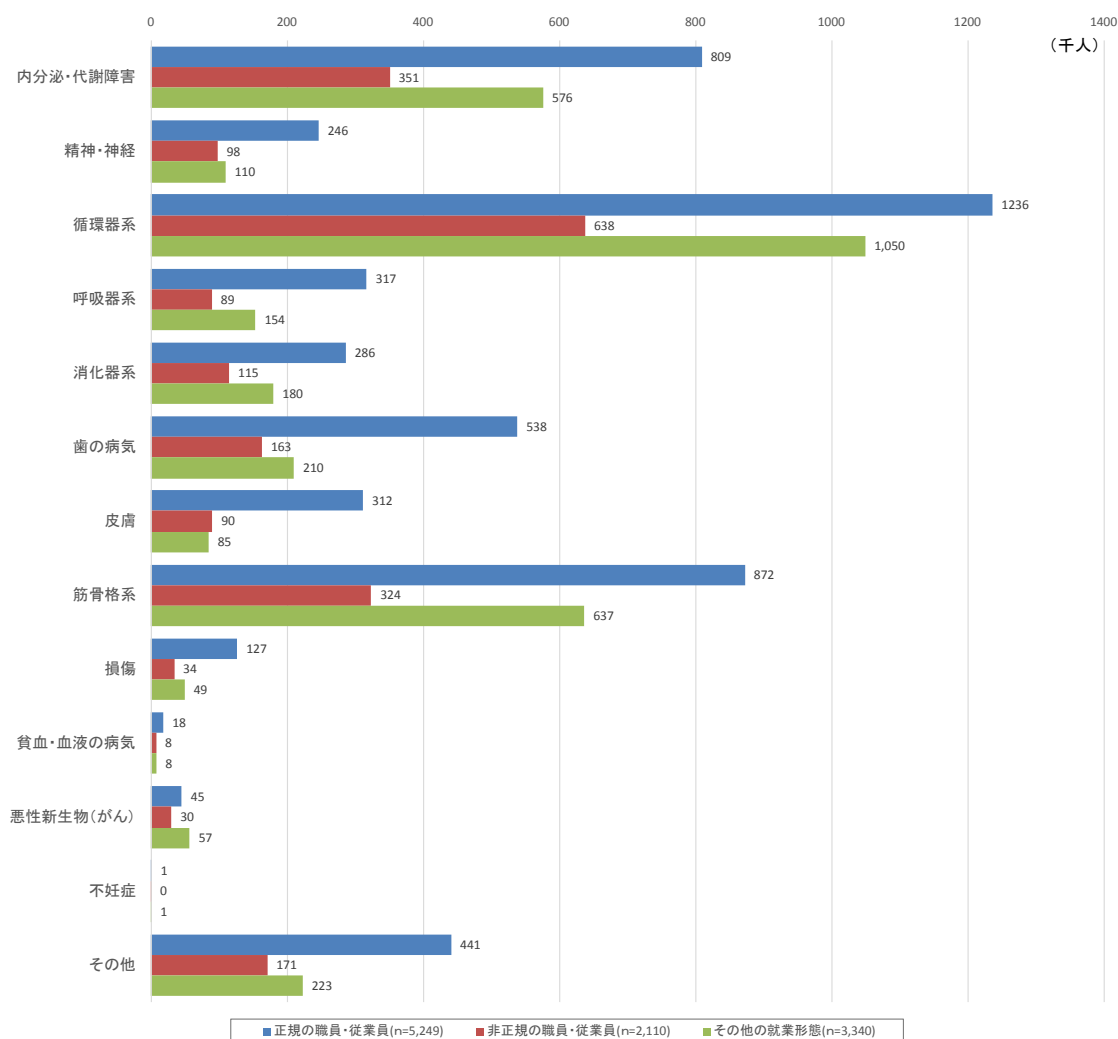
(2) 通院している人と傷病の関係

1) 通院している人が最も気になる傷病(※)と就業状況

- 【男性】通院しながら働いている人のうち平成28年の最も気になる傷病をみると、正規の職員、非正規の職員、その他の就業形態いずれも「内分泌・代謝障害(糖尿病、脂質異常症等)」、「循環器系(高血圧症、狭心症・心筋梗塞等)」、「筋骨格系(腰痛症、痛風等)」の傷病が上位である。
- 【女性】正規の職員、非正規の職員、その他の就業形態いずれも「循環器系(高血圧症、その他の循環器系の病気)」、「筋骨格系(肩こり症、腰痛症等)」の傷病が共通して上位。他に正規の職員は「歯の病気」、非正規の職員、その他の就業形態では「内分泌・代謝障害(糖尿病、脂質異常症等)」が上位である。

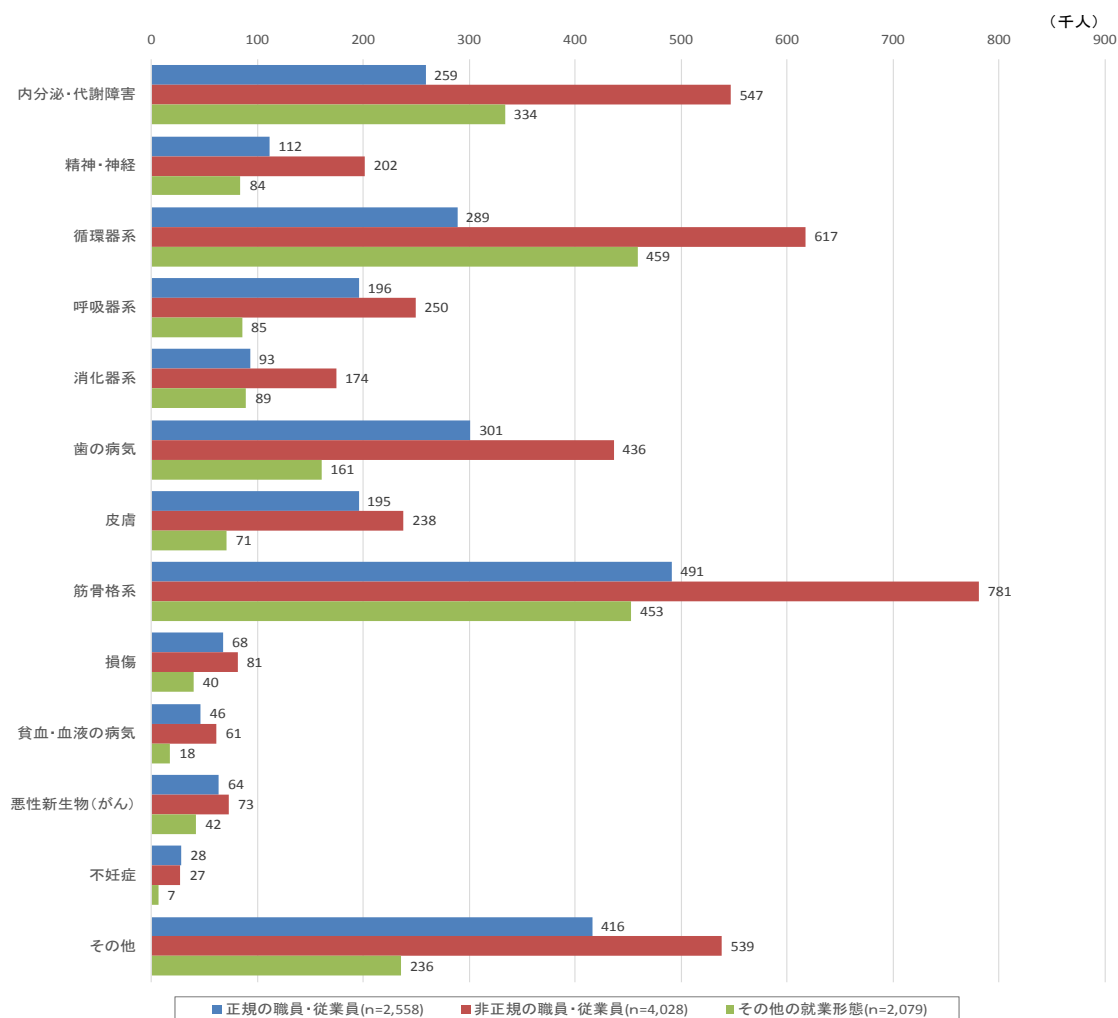
(※)「最も気になる傷病」とは、通院している傷病のうち、最も気になる傷病名のこと。

図 3.3. 就業状況別に見た最も気になる傷病(平成28年・男性)



(備考) 各 n 値は、傷病の「不詳」、「不明」を除いた総数。

図 3.4. 就業状況別に見た最も気になる傷病（平成 28 年・女性）



(備考) 各 n 値は、傷病の「不詳」、「不明」を除いた総数。

### 「最も気になる傷病」の傷病名の内訳について

傷病名の内訳は以下のとおり。

内分泌・代謝障害： 糖尿病、肥満症、脂質異常症（高コレステロール血症等）、甲状腺の病気

精神・神経： うつ病やその他のこころの病気、認知症パーキンソン病、その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）

循環器系： 高血圧症、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）、狭心症・心筋梗塞、その他の循環器系の病気

呼吸器系： 急性鼻咽頭炎（かぜ）、アレルギー性鼻炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息、その他の呼吸器系の病気

消化器系： 胃・十二指腸の病気、肝臓・胆のうの病気、その他の消化器系の病気

皮膚： アトピー性皮膚炎、その他の皮膚の病気

筋骨格系： 痛風、関節リウマチ、関節症、肩こり症、腰痛症、骨粗しょう症

損傷： 骨折、骨折以外のけが・やけど

その他： 眼の病気、耳の病気、尿路生殖系(腎臓の病気、前立腺肥大症、閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）、妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等）、その他



## 2 就業状況と健康に関する実態

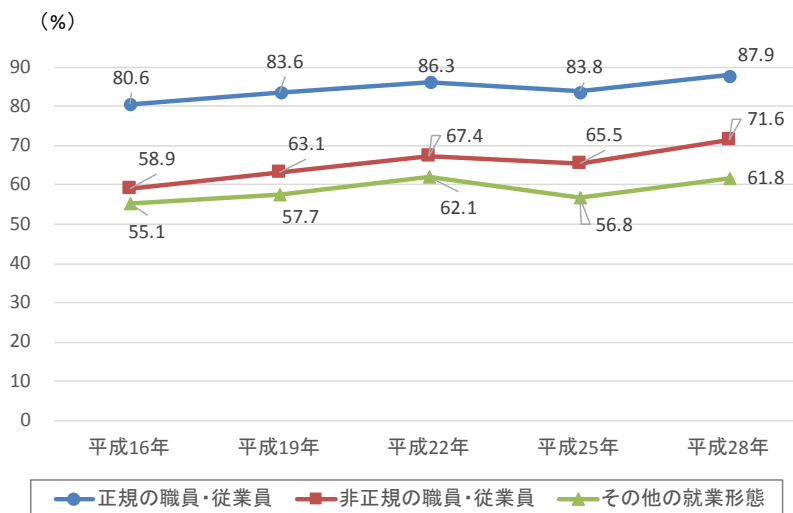
### (1) 健診の受診状況

#### 1) 就業状況別に見た健診受診率の推移

【健診受診：過去1年間の健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)受診の有無】

- 男性の正規の職員の健診受診率は、平成28年で87.9%と平成16年から7.3ポイント増加し、非正規の職員は、同71.6%と同12.7ポイント増加した。
- 女性の正規の職員の健診受診率は、平成28年で85.4%と平成16年から8.1ポイント増加し、非正規の職員は、同68.9%と同10.1ポイント増加した。

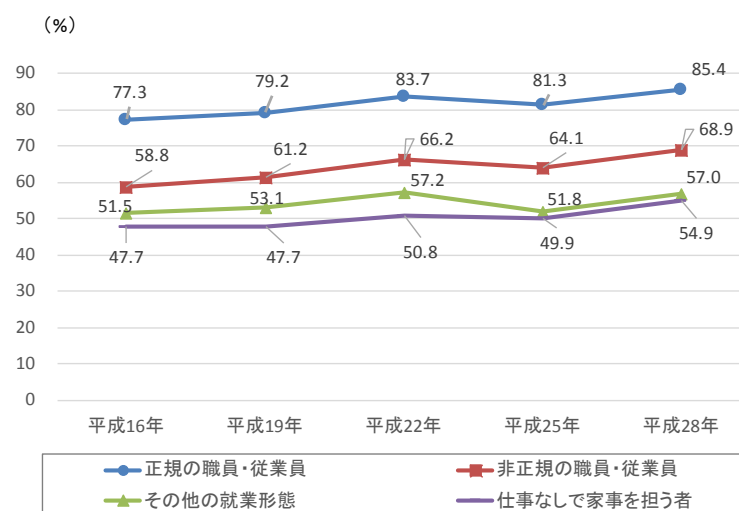
図 3.5. 就業状況別に見た健診受診率の推移（男性）



(備考) 1.20歳以上

2.受診率は、「受診率(%) = 「検診を受けた人数」 ÷ 「回答者総数」 × 100」で算出。

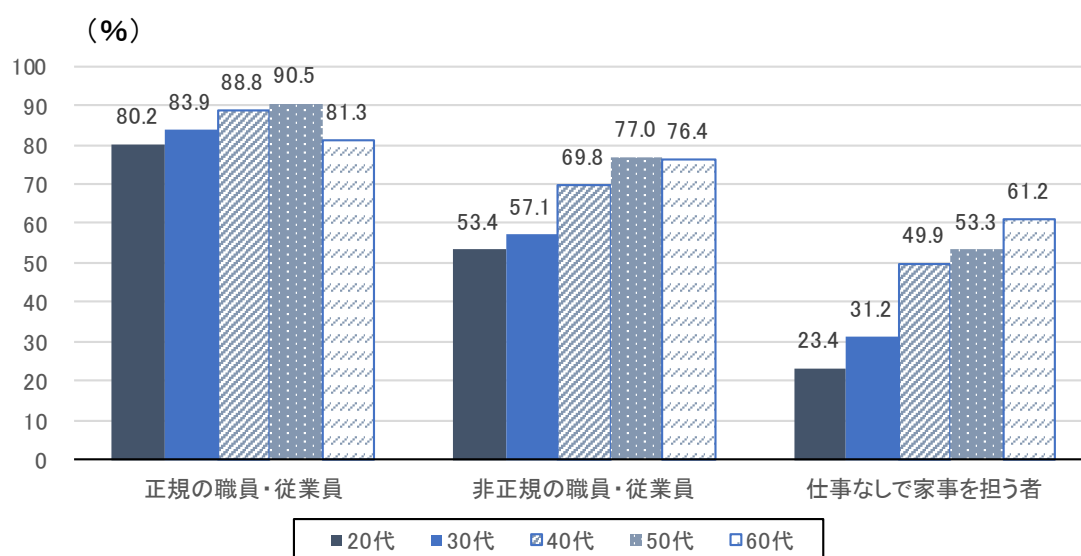
図 3.6. 就業状況別に見た健診受診率の推移（女性）



(備考) 1.20歳以上

2.受診率は、「受診率(%) = 「検診を受けた人数」 ÷ 「回答者総数」 × 100」で算出。

図 3.7. 年代別の健診受診率と就業状況（平成 28 年・女性のみ）



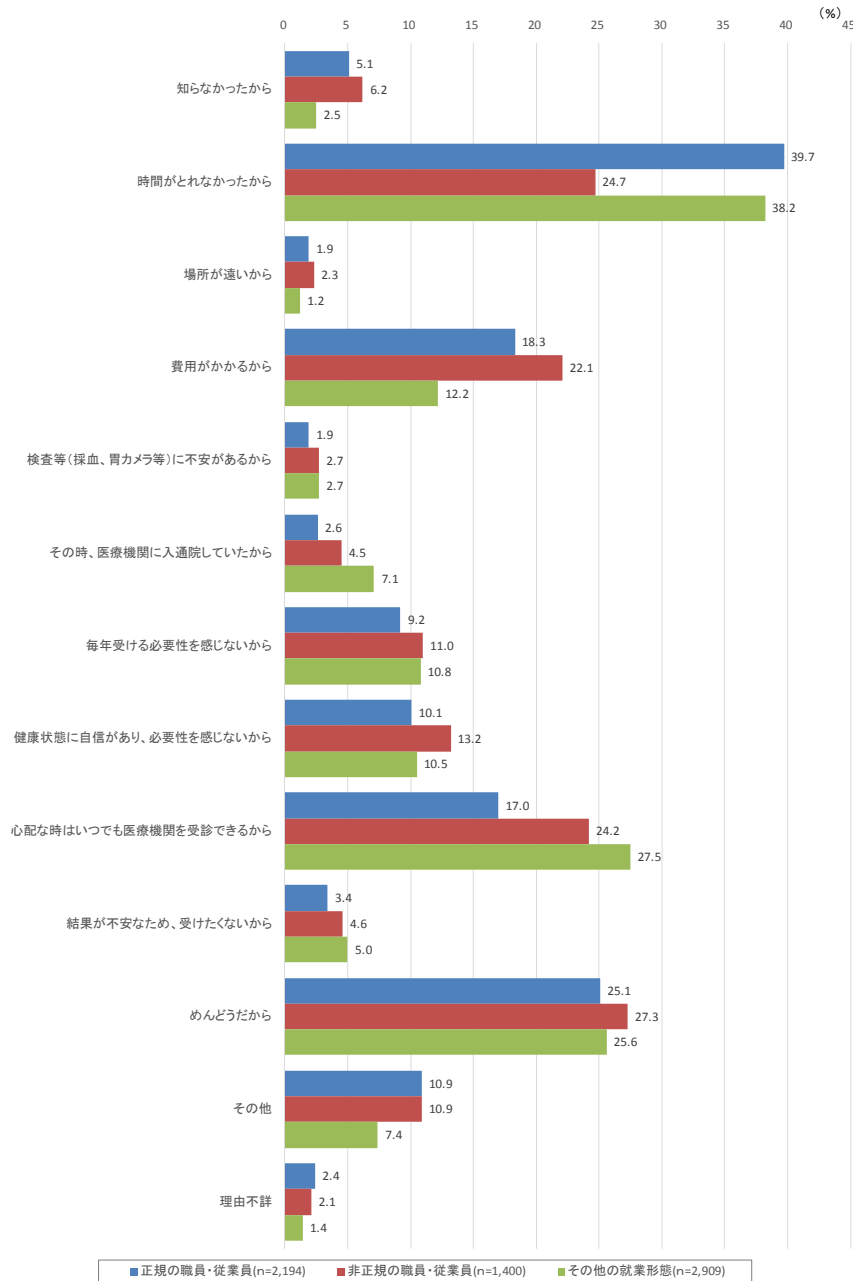
（備考）受診率は、「受診率(%) = 「検診を受けた人数」 ÷ 「回答者総数」 × 100」で算出。

2) 就業状況別に見た健診を受けなかった理由

【過去1年間に健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)を受けたことがない人の理由】

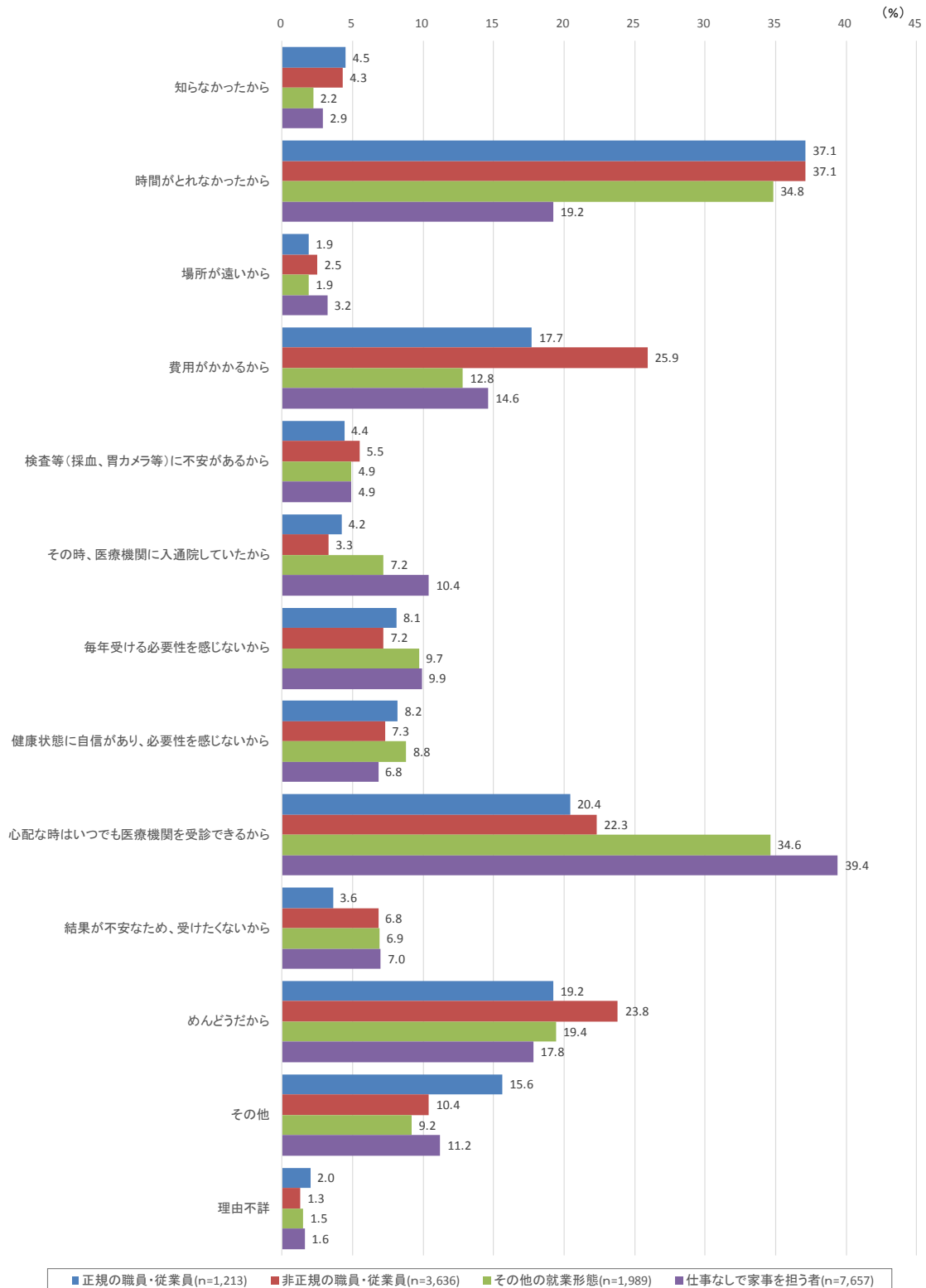
- 男女ともに、「時間が取れなかったから」、「めんどうだから」が上位の理由となっている。「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」も上位の回答となっているが特に女性の仕事なしで家事を担うものの一番の理由となっている。他に、男女ともに非正規職で「費用がかかる」の割合が高い。

図 3.8. 就業状況別に見た健診を受けなかった理由（平成 28 年・男性）



(備考) 20 歳以上

図 3.9. 就業状況別に見た健診を受けなかった理由（平成 28 年・女性）



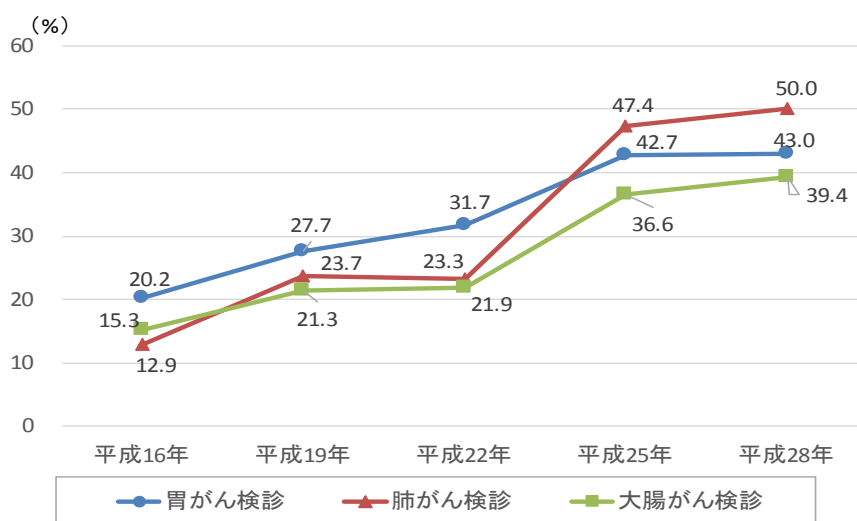
(備考) 20 歳以上

(2) がん検診の受診状況

1) 就業状況別に見たがん検診受診率の推移

- 男女ともに仕事の有無にかかわらず、各がん検診について、平成16年から受診率が高まっている。
- 男性の正規の職員は平成28年に「肺がん」の受診率が5割となった。
- 女性の正規の職員は平成28年に「肺がん」の受診率が44.3%、「子宮がん」が40.9%となった。

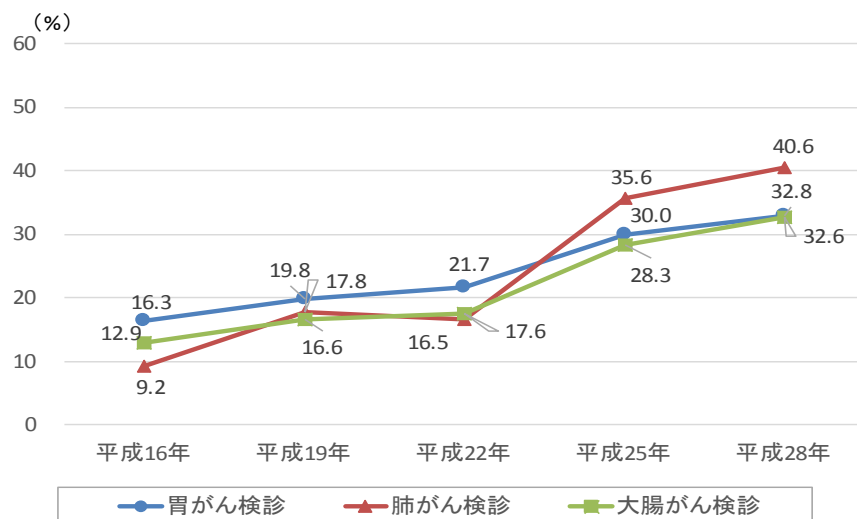
図 3.10. 正規の職員（男性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20歳以上

2. 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

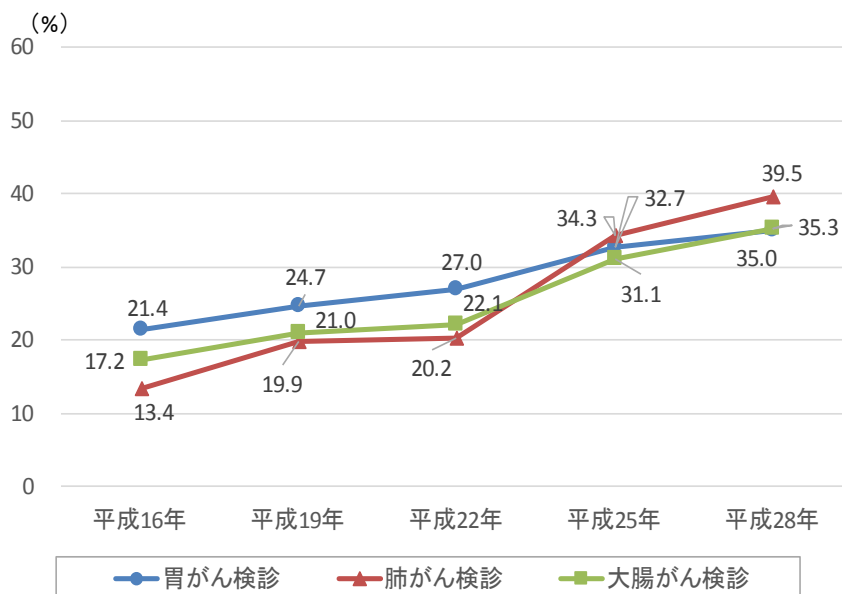
図 3.11. 非正規の職員（男性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20歳以上

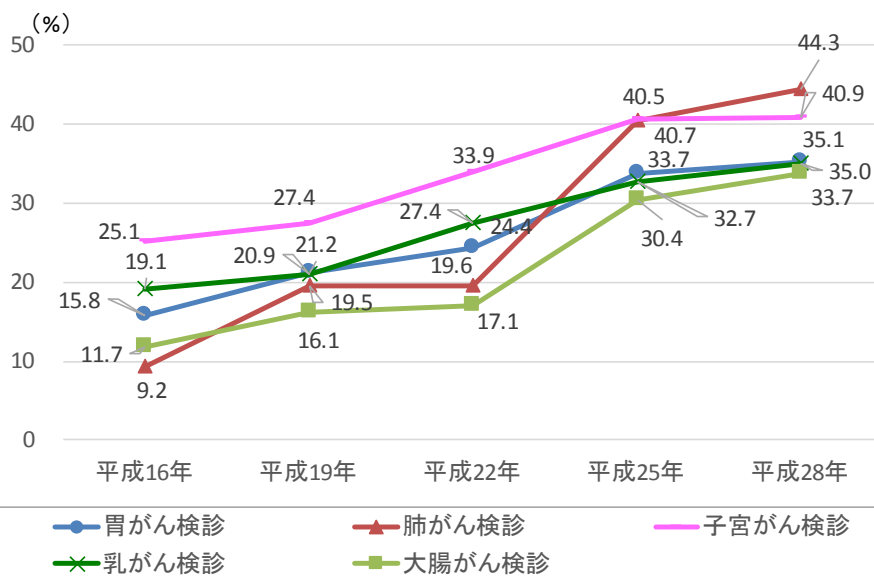
2. 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

図 3.12. その他の就業形態（男性）のがん検診受診率の推移



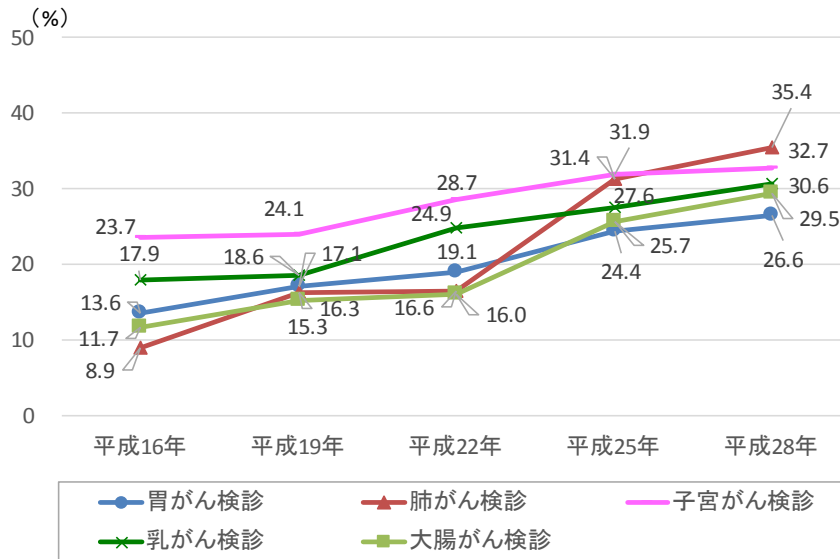
(備考) 1.20歳以上  
 2.受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

図 3.13. 正規の職員（女性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20歳以上  
 2.受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

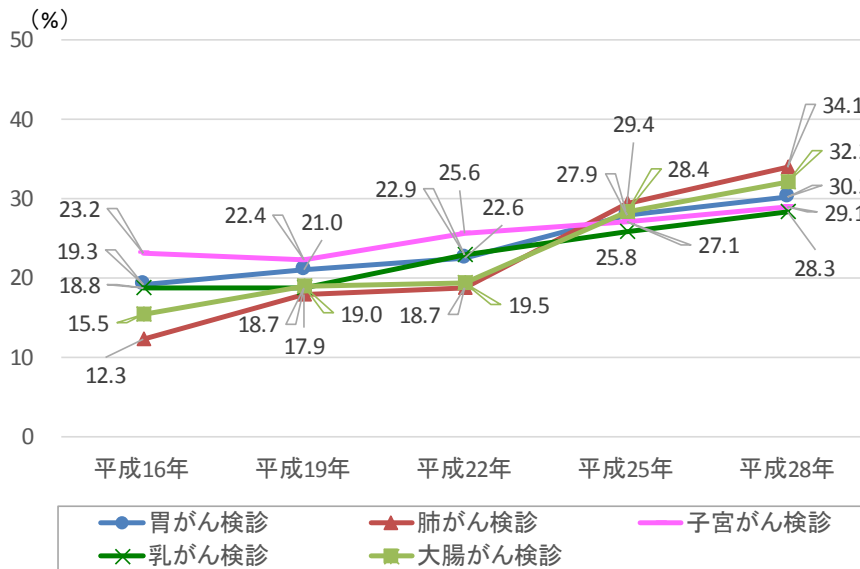
図 3.14. 非正規の職員（女性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20歳以上

2. 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

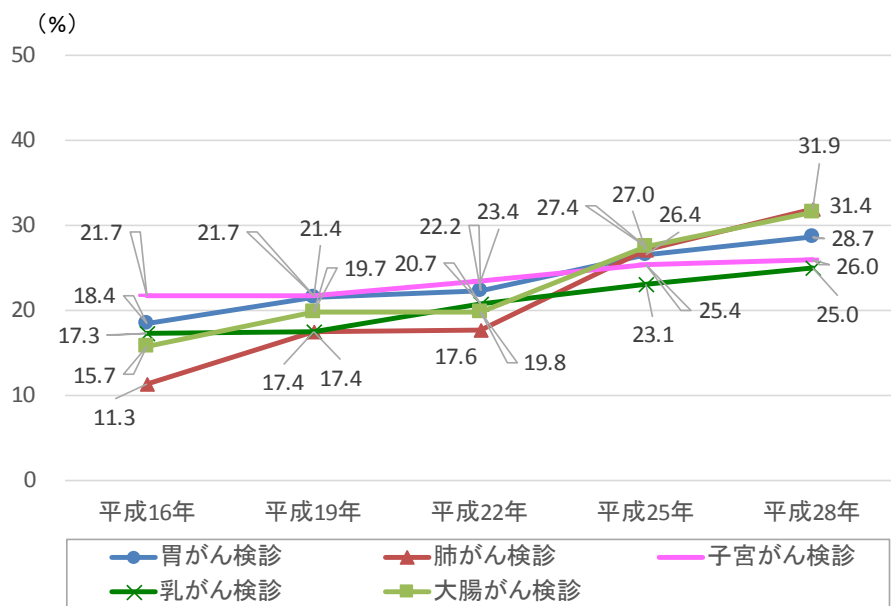
図 3.15. その他の就業形態（女性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20歳以上

2. 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

図 3.16. 仕事なしで家事を担う者（女性）のがん検診受診率の推移



(備考) 1.20 歳以上

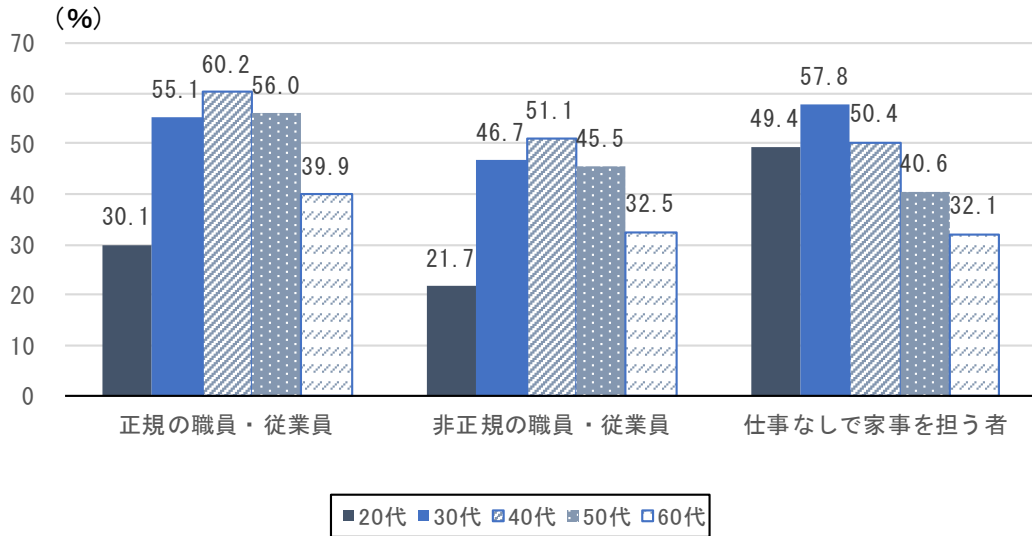
2. 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。



2) 過去2年間の子宮がん・乳がん検診の受診と年齢・就業状況との関係

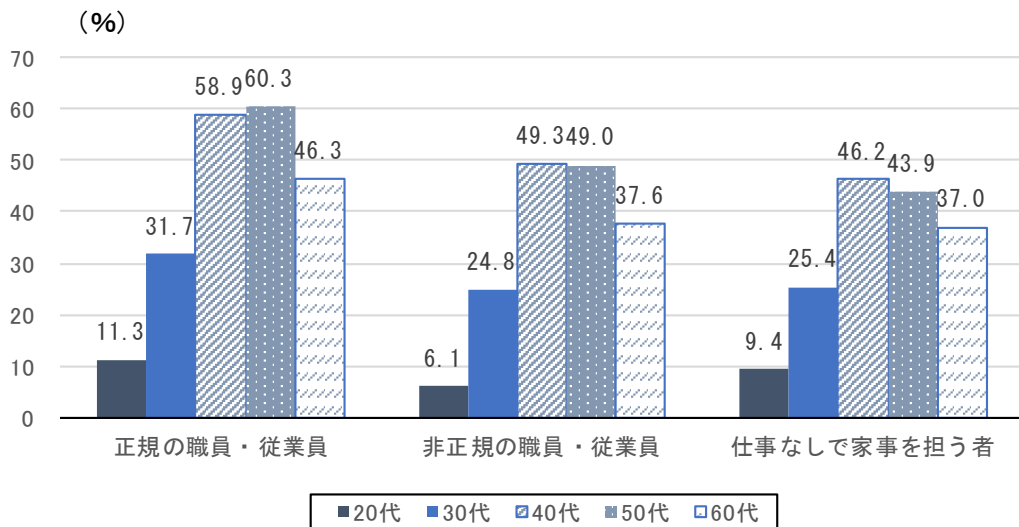
- 子宮がん検診、乳がん検診の受診率は正規の職員の方が、非正規の職員、仕事なしで家事を担うものと比較して、受診率が高い傾向が見られる。
- 子宮がん検診、乳がん検診ともに年代によって受診率のばらつきが見られる。特に乳がん検診は、20代、30代の受診率が低い。

図 3.17. 年代別の子宮頸がん検診受診率と就業状況（平成 28 年・女性のみ）



(備考) 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

図 3.18. 年代別の乳がん検診受診率と就業状況（平成 28 年・女性のみ）



(備考) 受診率は、「受診率(%)=「検診を受けた人数」÷「回答者総数」×100」で算出。

### 3 介護しながら働いている人の実態

#### (1) 同居の主な介護者の就業形態と性別の関係

15歳以上の介護者(世帯票)と手助けや見守りを要する者(世帯票)が同居している場合の結果である。

なお、手助けや見守りを要する者とは、在宅の6歳以上の世帯員であって、歩行・移動、着替え、洗面、食事、排せつ、入浴等に際して何らかの手助けや見守りを必要とする者や、意思疎通が困難な者、介護保険法による「要介護」「要支援」の認定を受けている者などをいう。

- 手助けや見守りを要する者と同居している介護者を就業状況別に見ると、平成28年に正規職員の男性は26万人、女性が25万人、非正規職員の男性は14万人、女性は49万人が同居者の介護をしながら働いている<sup>5</sup>。

図 3.19. 同居の主な介護者の就業形態（男性）

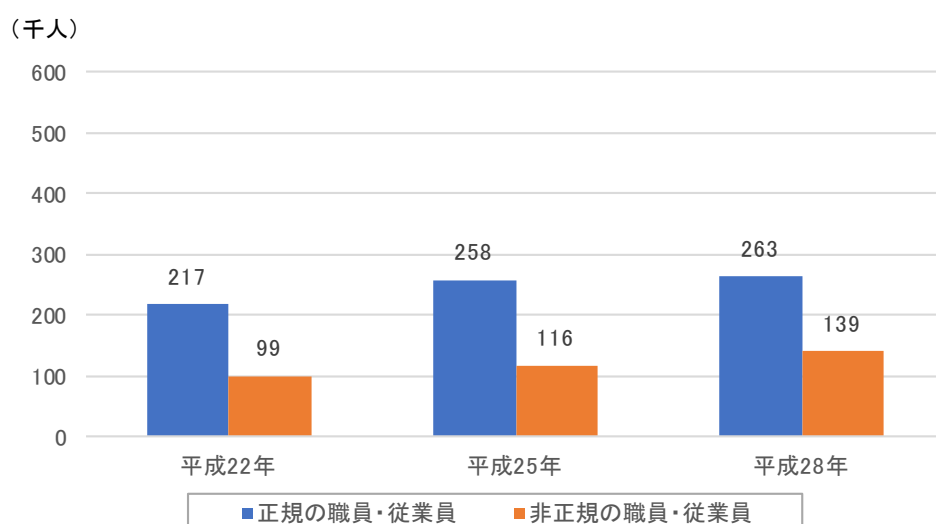
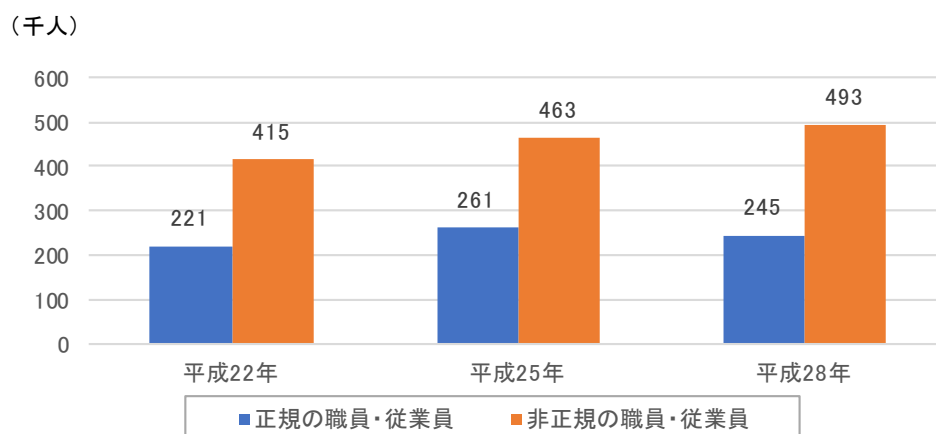


図 3.20. 同居の主な介護者の就業形態（女性）



<sup>5</sup> 正規職員の男性に占める割合は、1.3%、女性に占める割合は2.7%、非正規職員の男性に占める割合は2.5%、女性に占める割合は3.9%である。

## 第4章 男女の健康意識に関する調査の結果

### 1 日ごろの不調に関する状況

#### (1) 現在抱えている病気やけが等の不調

- 全ての回答者に対して、現在抱えている病気やけが等の不調について尋ねた結果を見ると、「便秘」「肩こり」「手足が冷える」は、男性に比べて女性の方が不調として割合が極めて高い。男性は、「肩こり」「腰痛」「体がだるい」の順で不調を訴える割合が高いが、女性と比較して全般的に不調を訴える割合は低い。

表4.1.現在抱えている病気やけが等の不調（性別・性年代）

(%)

		肩こり	腰痛	手足が冷える	体がだるい	いらいらしやすい	目のかすみ・物を見づらい	頭痛	眠れない	便秘	もの忘れする	手が悪い・手足のしびれ	手足の関節が痛む・手足の動き	胃腸の不調	足のむくみやだるさ	めまい
全体(n=5000)		32.1	24.9	19.4	16.6	16.0	14.2	13.2	12.6	11.2	10.2	9.7	9.0	8.8	6.5	
性別	男性(n=2500)	23.3	23.3	10.2	17.0	14.8	12.2	10.5	14.1	6.5	9.8	9.0	7.4	3.6	5.3	
	女性(n=2500)	40.9	26.5	28.6	16.2	17.2	16.2	15.8	11.0	15.9	10.6	10.4	10.6	14.0	7.7	
性年代	男性20代(n=437)	22.0	18.1	10.8	24.7	22.4	8.5	14.2	16.5	4.1	11.4	4.1	7.1	3.4	7.6	
	男性30代(n=563)	26.6	23.4	14.2	25.9	22.9	9.4	17.6	22.4	6.0	11.0	8.0	12.3	4.8	7.1	
	男性40代(n=500)	28.0	28.4	11.0	18.0	15.6	15.6	12.2	16.0	10.0	10.6	10.8	8.6	3.8	7.2	
	男性50代(n=500)	23.2	23.4	8.2	12.0	10.2	14.6	6.8	11.0	6.6	8.6	10.8	5.4	3.8	3.6	
	男性60歳以上(n=500)	16.0	22.4	6.6	4.0	2.8	12.8	1.2	4.0	5.4	7.2	11.0	3.0	2.0	1.2	
	女性20代(n=500)	40.6	22.8	37.2	26.2	26.6	11.4	21.8	17.0	21.4	10.8	5.6	15.8	16.4	10.8	
	女性30代(n=500)	44.8	25.4	36.0	19.8	23.2	11.4	23.4	12.2	20.0	8.6	7.0	11.6	17.4	9.2	
	女性40代(n=500)	45.8	28.2	28.0	17.8	17.8	18.8	17.8	9.4	15.8	10.0	9.6	9.8	18.8	7.8	
	女性50代(n=500)	42.8	31.6	24.0	10.4	13.2	21.6	11.4	9.4	14.0	13.2	14.4	10.2	10.4	7.2	
	女性60歳以上(n=500)	30.6	24.4	18.0	6.8	5.0	17.8	4.8	7.0	8.4	10.2	15.4	5.4	7.0	3.8	

(備考) 赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

表4.2.現在抱えている病気やけが（性別・性年代）（つづき）

(%)

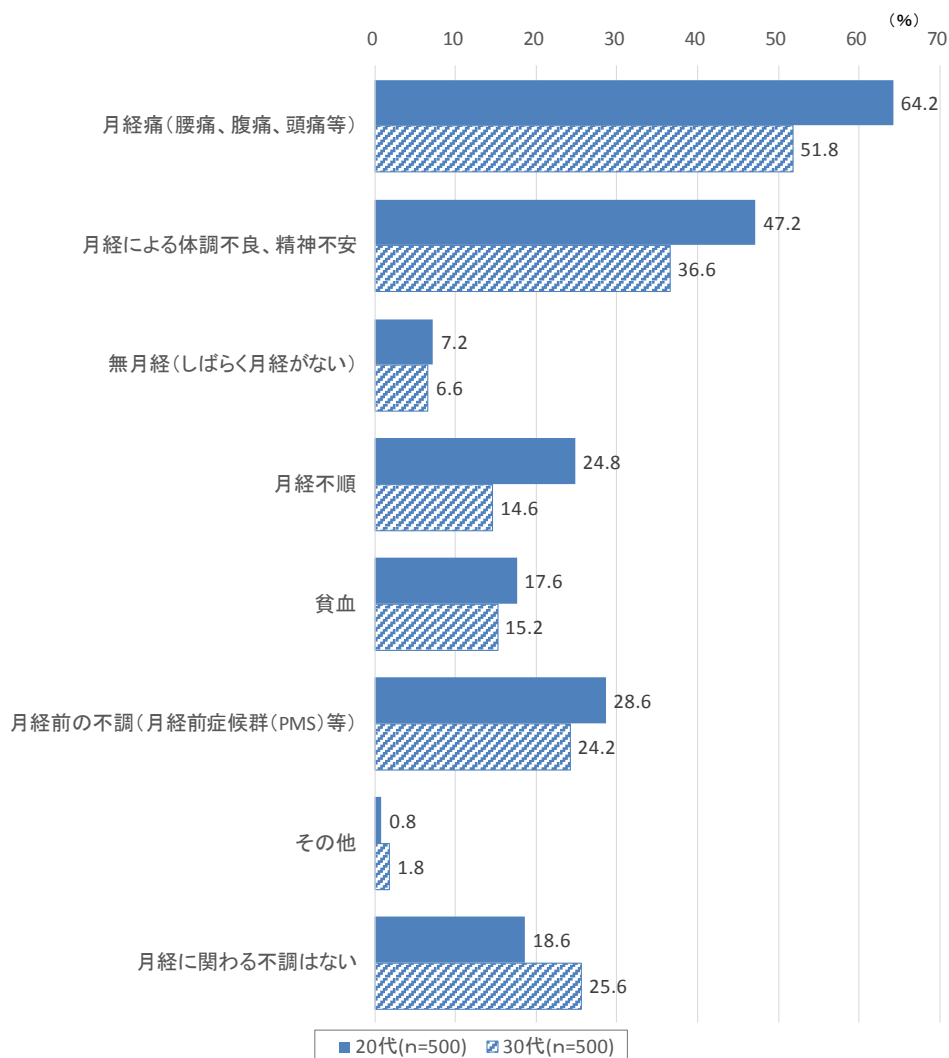
		月経不順・月経痛	耳なりがする・きこえにくい	下痢	発疹・かゆみ	動悸・息切れ	口腔内の不調	尿が出にくい・頻尿・尿失禁、排尿の不調（頻尿、尿失禁、尿痛）	痔による痛み・出血など	熱がある	胸部に痛みがある	骨折・ねんざ・脱臼	妊娠に伴う体調不良（つわり、悪阻等）	その他	あてはまるものはない
全体(n=5000)		6.3	6.1	6.0	5.7	5.6	5.0	4.2	3.5	2.2	2.2	1.0	0.5	1.3	29.9
性別	男性(n=2500)	-	5.2	7.3	5.0	4.9	4.6	4.5	3.9	2.7	2.1	1.1	-	0.8	36.7
	女性(n=2500)	12.6	7.0	4.7	6.4	6.3	5.4	4.0	3.1	1.6	2.3	0.9	0.9	1.8	23.0
性年代	男性20代(n=437)	-	3.4	6.4	5.5	4.3	4.3	1.1	2.7	8.5	2.3	1.6	-	0.7	32.3
	男性30代(n=563)	-	4.4	11.4	4.4	6.9	5.0	3.9	6.9	2.8	2.8	0.9	-	0.7	30.7
	男性40代(n=500)	-	4.0	8.2	4.8	4.2	5.4	3.6	3.6	1.6	1.8	0.4	-	0.8	32.6
	男性50代(n=500)	-	6.0	7.0	5.2	5.4	3.8	6.4	2.8	1.2	1.8	1.2	-	0.6	41.0
	男性60歳以上(n=500)	-	8.2	2.8	5.4	3.2	4.4	7.2	3.0	0.2	1.8	1.4	-	1.2	47.2
	女性20代(n=500)	26.4	9.0	8.4	6.0	9.2	5.2	4.0	4.8	3.6	2.0	0.8	3.4	1.6	18.0
	女性30代(n=500)	19.0	5.8	5.8	6.2	4.8	4.4	2.2	4.6	2.2	2.6	0.6	1.2	1.4	21.8
	女性40代(n=500)	14.4	7.4	5.0	8.2	7.2	4.8	3.0	4.0	1.6	2.6	1.0	-	1.8	20.4
	女性50代(n=500)	3.2	7.4	2.4	7.2	6.4	5.6	4.2	1.6	0.2	2.6	1.2	-	2.2	22.8
	女性60歳以上(n=500)	-	5.2	1.8	4.4	3.8	6.8	6.4	0.4	0.6	1.6	0.8	-	1.8	32.2

(備考) 赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

## (2) 月経に関わる不調の状況

- 女性のみで月経に関する不調を尋ねた結果を見ると、20～30代の7～8割が月経に関する何らかの不調を感じている。月経痛は、20代の64.2%、30代の51.8%抱えている。

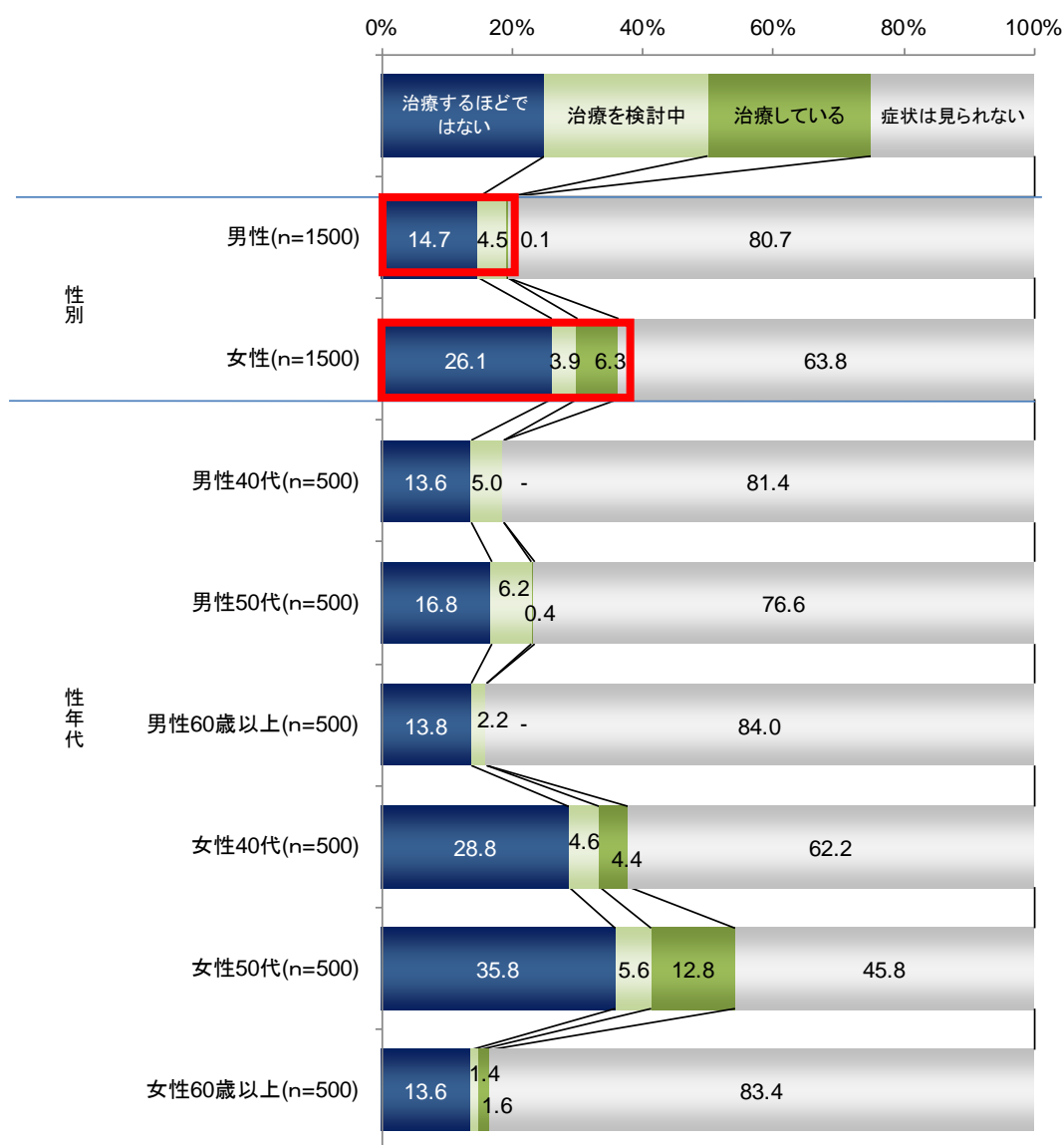
図4.1.月経に関わる不調の状況（女性のみ）



(3) 肩こり、ほてり、発汗等の更年期障害に関する症状

- 40歳以上の男女を対象に更年期障害に関する症状の有無を尋ねた結果を見ると、女性の36.3%（うち、40代は37.8%、50代は54.2%）、男性の19.3%（うち、40代は18.6%、50代は23.4%）が何らかの更年期障害を抱える。
- 女性の26.1%、男性の14.7%は「症状が見られるが治療するほどではない（治療していない）」としているが、女性3.9%、男性の4.5%が治療を検討し、女性の6.3%、男性の0.1%が実際に治療を行っている。

図4.2.更年期障害に関わる症状の有無（40代以上の男女）



## 2 傷病等に関する状況

### (1) 通院ありの者の傷病

- 通院ありと回答した者の傷病の状況を見ると、男性は「うつ病やその他のこころの病  
気」が 46.6% で女性 26.8% である。「糖尿病」の女性は 13.6% に対して、男性は 38.4%  
と高い。
- 女性特有の傷病として、「子宮筋腫」が 14.4%、「子宮内膜症」が 10.9%、「月経困難  
症」が 7.3% である。

表4.3.通院ありの者の傷病（性別・性年代・就業形態）

(%)

		うつ病やその他のこころの病 気	糖 尿 病	悪 性 新 生 物 (が ん)	子 宮 筋 腫	狭 心 症 ・ 心 筋 梗 塞	子 宮 内 膜 症	関 節 リ ウ マ チ	更 年 期 障 害	骨 粗 鬆 症	不 妊 症 (妊 娠 を 望 み な が ら 1 年 間 以 上 妊 娠 の 兆 し が あ ら な い 、 不 妊 症 に つ い て 受 診 し た こ と が あ る 等)	月 経 困 難 症 (子 宮 筋 腫 や 子 宮 内 膜 症 で 月 経 困 難 症 、 月 経 痛 が 強 く 病 院 に か か つ て い る 等)	バ セ ド ウ 病 、 橋 本 病	脳 卒 中 (脳 出 血 、 脳 梗 塞 等)	卵 巢 嚢 腫	性 感 染 症 (性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 、 性 器 へ ル ペ ス ウ ィ ル ス 感 染 、 淋 病 、 梅 毒 等)	産 前 置 胎 盤 等	妊 娠 ・ 産 褥 期 の 傷 病 (妊 娠 悪 阻 、 妊 娠 浮 腫 、 妊 娠 中 毒 症 、 切 迫 流 産 等)	産 後 う つ の 症 状	産 後 う つ の 症 状 (産 後 約 2 週 〜 1 か 月 以 内 に 起 る う つ の 症 状)
合計	通院あり(n=2500)	36.7	26.0	9.4	7.2	5.4	5.4	4.8	4.3	3.8	3.7	3.6	3.2	2.4	2.0	1.1	0.6	0.4		
性別	男性・通院あり(n=1250)	46.6	38.4	8.6	-	9.0	-	3.5	0.7	1.2	1.4	-	1.0	4.1	-	1.7	-	-		
	女性・通院あり(n=1250)	26.8	13.6	10.2	14.4	1.8	10.9	6.2	7.8	6.4	6.1	7.3	5.3	0.8	4.1	0.6	1.2	0.7		
性・年代	20代・男性・通院あり(n=187)	57.2	13.4	12.8	-	11.2	-	8.6	3.2	5.9	4.3	-	3.2	9.6	-	8.0	-	-		
	30代・男性・通院あり(n=313)	74.4	17.6	4.2	-	1.3	-	3.2	0.3	-	1.9	-	1.3	1.9	-	1.9	-	-		
	40代・男性・通院あり(n=250)	60.4	37.2	3.2	-	3.2	-	3.2	-	0.8	0.4	-	0.8	3.6	-	-	-	-		
	50代・男性・通院あり(n=250)	31.2	57.2	8.0	-	14.0	-	0.4	0.8	0.4	0.8	-	-	2.8	-	-	-	-		
	60歳以上・男性・通院あり(n=250)	5.2	65.6	17.2	-	17.6	-	3.6	-	0.4	-	-	0.4	4.4	-	-	-	-		
	20代・女性・通院あり(n=250)	43.6	4.4	2.4	5.6	1.2	13.2	1.6	-	1.6	7.2	20.4	5.6	1.2	6.0	2.4	4.8	2.4		
	30代・女性・通院あり(n=250)	37.2	6.0	6.0	16.0	-	18.8	2.8	1.6	1.2	18.0	9.6	5.6	-	6.4	0.4	1.2	0.4		
	40代・女性・通院あり(n=250)	22.8	11.6	9.2	30.8	0.8	14.0	5.2	8.8	0.8	5.2	5.6	4.4	0.8	3.6	-	-	0.4		
	50代・女性・通院あり(n=250)	22.4	16.0	16.4	16.0	0.8	6.8	7.6	25.6	2.8	-	0.8	6.8	-	3.6	-	-	0.4		
	60歳以上・女性・通院あり(n=250)	8.0	30.0	17.2	3.6	6.4	1.6	13.6	3.2	25.6	-	-	4.0	2.0	0.8	-	-	-		
性・職業	男性・通院あり正規の職員・従業員(n=743)	49.4	36.3	8.7	-	7.7	-	4.0	0.9	1.6	1.5	-	1.2	3.6	-	2.6	-	-		
	非正規の職員計(n=274)	52.9	36.1	6.9	-	10.2	-	1.1	-	0.4	-	-	1.1	2.9	-	0.7	-	-		
	その他の就業形態(n=233)	30.0	47.6	10.3	-	11.6	-	4.7	0.9	0.9	2.6	-	0.4	6.9	-	-	-	-		
	女性・通院あり正規の職員・従業員(n=458)	23.6	9.8	9.4	19.7	1.1	14.8	6.1	7.4	2.2	6.6	10.7	5.0	0.9	6.1	1.1	2.0	0.9		
	非正規の職員計(n=631)	28.4	14.9	10.1	12.5	2.2	9.4	6.0	8.4	7.9	6.5	5.7	4.8	0.8	3.2	0.3	1.0	0.6		
	その他の就業形態(n=161)	29.8	19.3	13.0	6.8	2.5	5.6	6.8	6.8	12.4	3.1	3.7	8.1	0.6	1.9	-	-	-		

(備考) 1.通院ありのみの回答。「通院あり」は、その他の傷病以外のいずれかの傷病1つに罹患して通院している。

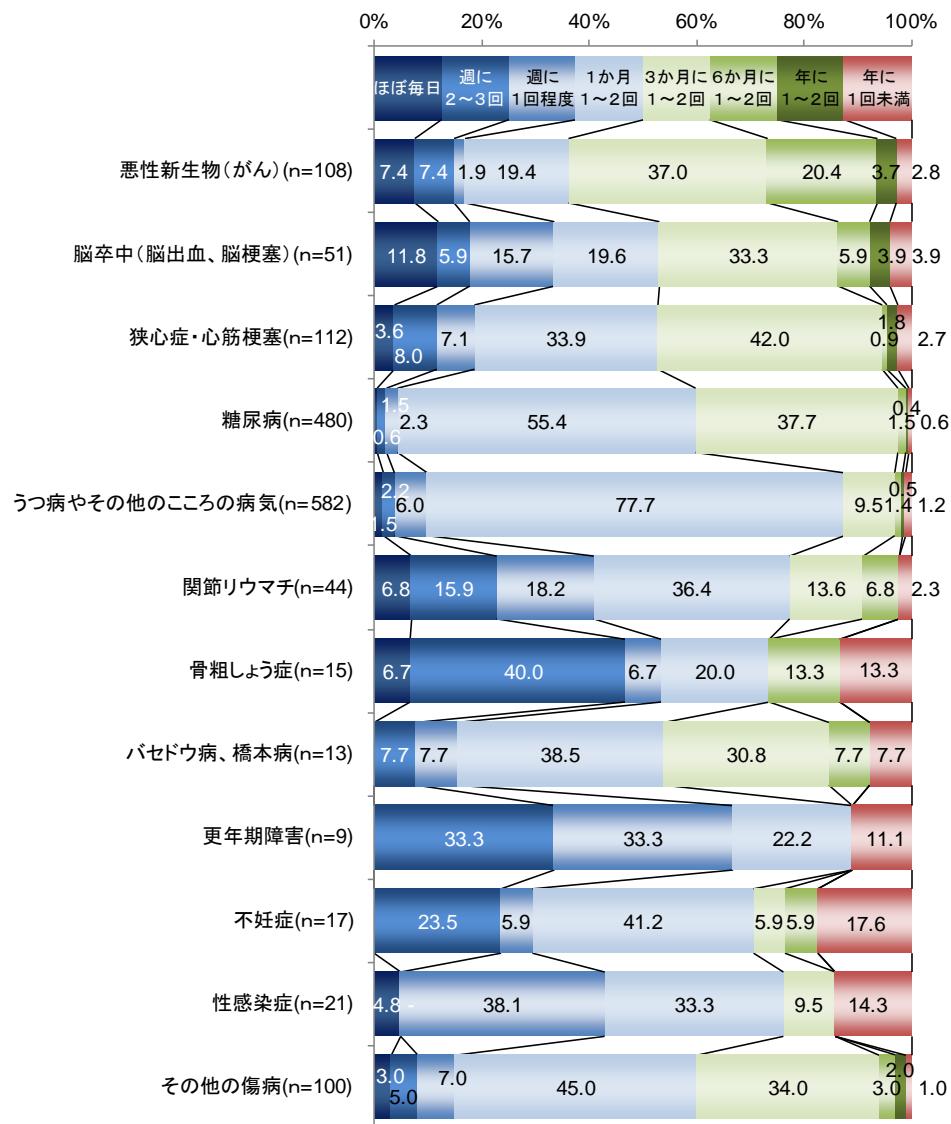
2.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

3.子宮筋腫、子宮内膜症、月経困難症、卵巣嚢腫、妊娠産褥期の傷病、産後うつは女性のみ回答。

(2) 傷病ごとの通院の頻度

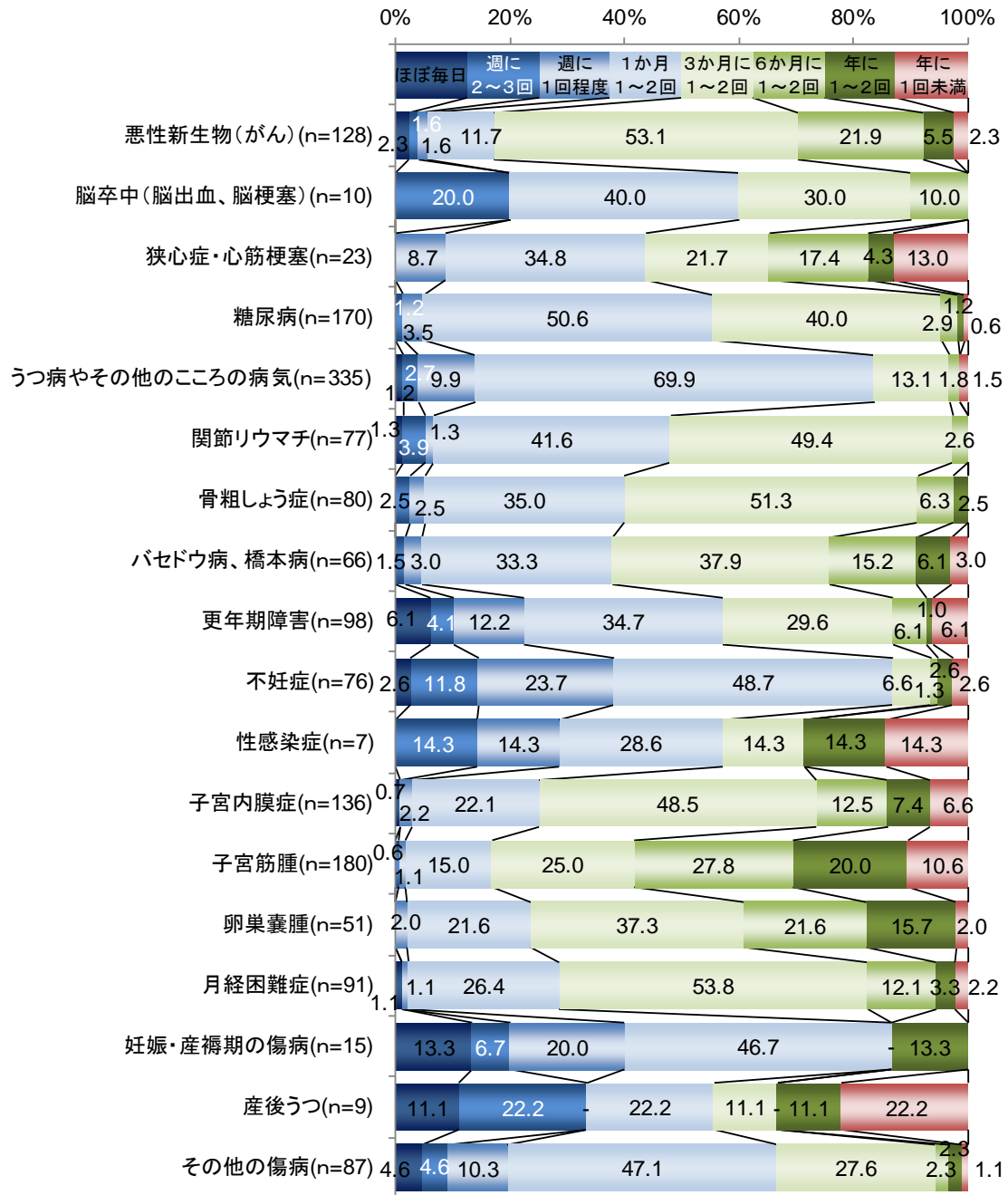
- 通院ありの者の通院の頻度の結果を見ると、男性は、「うつ病やその他のこころの病気」、「性感染症」、「関節リウマチ」で1か月に1~2回以上通院している人が通院者の7割以上を占める。
- 女性は、「不妊症」、「妊娠・産褥期の傷病」「うつ病やその他のこころの病気」で1か月に1~2回以上通院している人が通院者の7割以上となっている。

図4.3.傷病ごとの通院の頻度（男性）



(備考) 通院ありのみの回答。男性は、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫、月経困難症、妊娠・産褥期の傷病、産後うつは対象外として除く。

図4.4.傷病ごとの通院の頻度（女性）



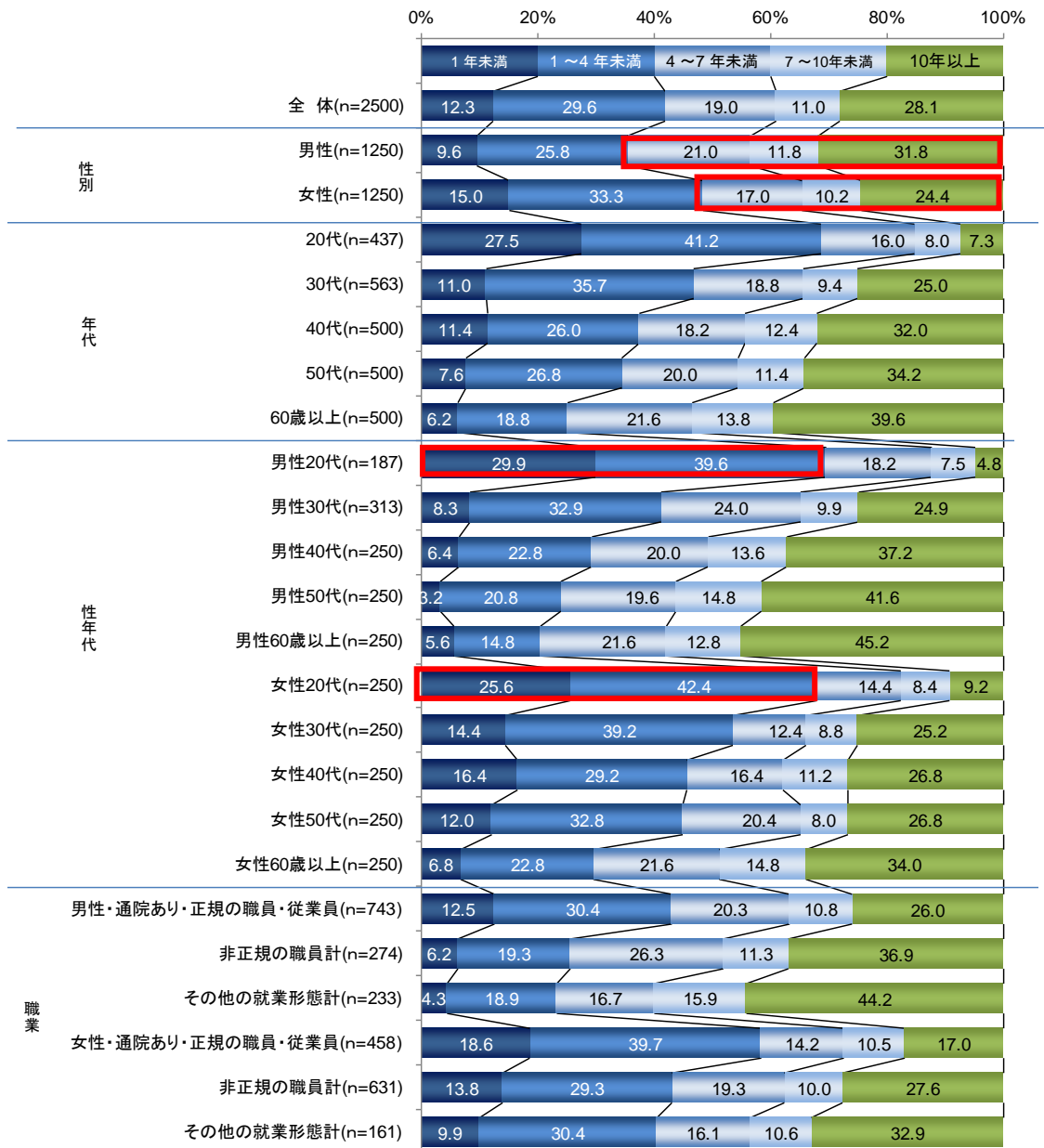
(備考) 通院ありのみの回答。



(3) 通院期間

- 通院期間の結果を見ると、4年未満では男性よりも女性の方が高く、4年以上は男性の方が高い。
- 男女ともに20代は4年未満が7割弱である。男性は30代以上、女性は40代以上で4年以上が過半数を占めるとともに、高齢ほど「10年以上」が高くなる。

図4.5. 通院期間（性別・年代・性年代・就業形態）

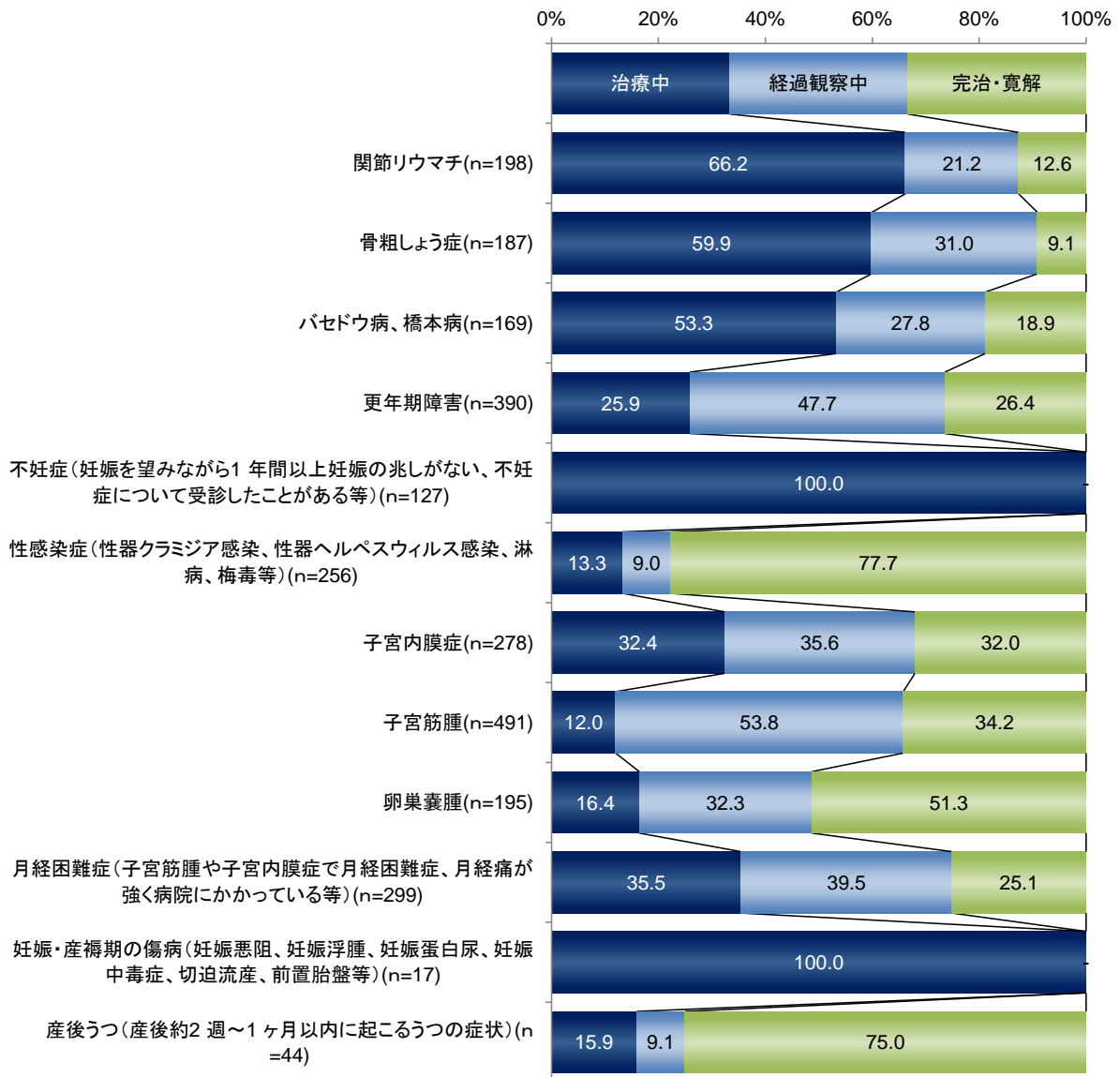


(備考) 通院ありのみの回答。

(4) 治療の状況

- 治療状況の結果を見ると、子宮内膜症罹患経験者のうち、治療中は 32.4%、経過観察中は 35.6%である。子宮筋腫罹患経験者のうち、治療中は 12.0%、経過観察中は 53.8%である。

図4.6. 治療の状況（傷病名別）



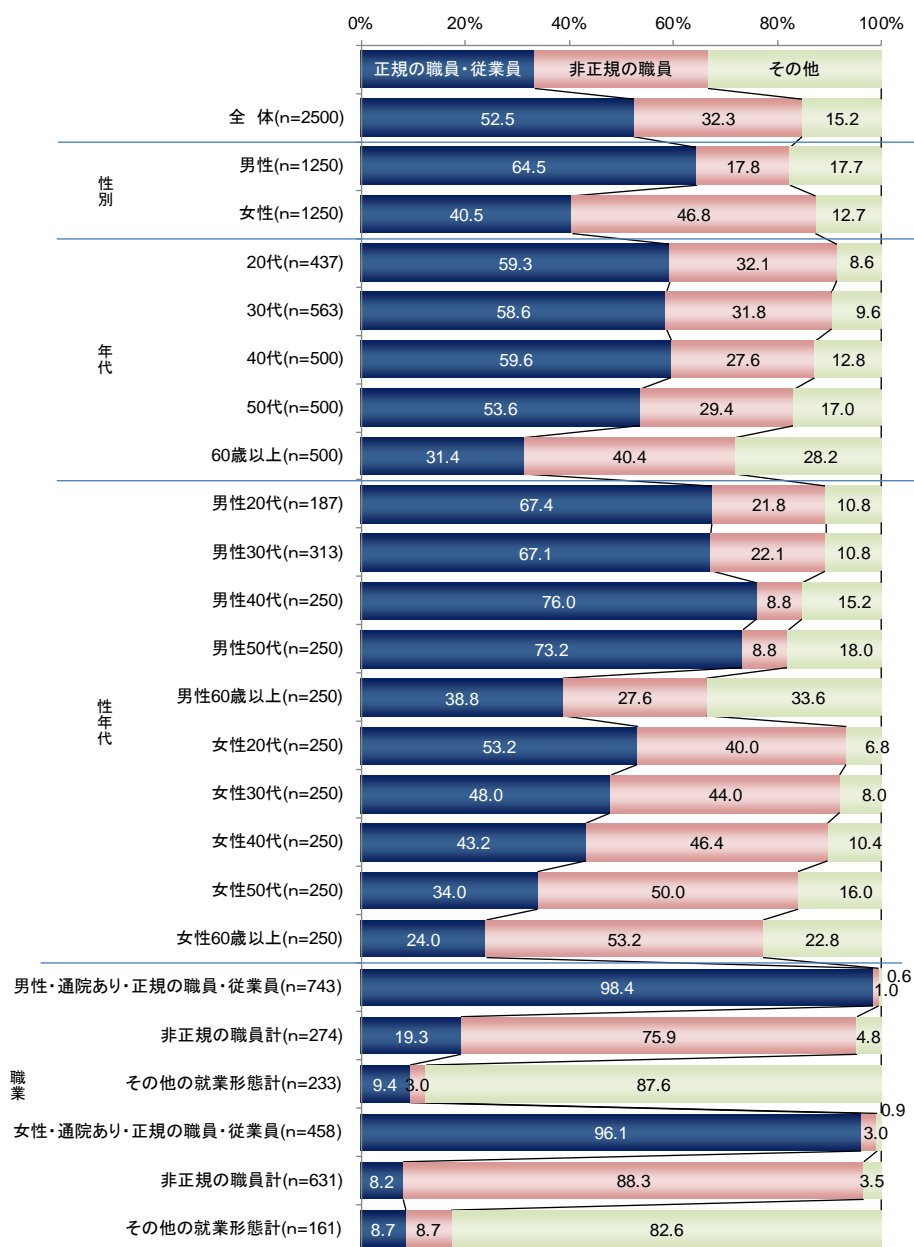
- (備考) 1.n値は「罹患経験者なし」「その他」を除いた人数。  
 2.関節リウマチ、骨粗しょう症、バセドウ病・橋本病、更年期障害、不妊症、性感染症は男女の結果、それ以外は女性のみ結果。  
 3.回答者には通院なしも含む。

### 3 仕事と治療の両立に関する状況

#### (1) 通院頻度の最も多い傷病の罹患時の就業状況

- 疾病罹患時の就業状況について性別で見ると、男性は正規の職員が 64.5%、女性は非正規の職員が 46.8% でそれぞれ最も高い。
- 性年代では、男性は 20 代、30 代、60 歳以上で非正規の職員が 2 割以上。女性はどの年代も非正規の職員が 4 割以上を占める。

図4.7. 通院頻度の最も多い傷病の罹患時の就業状況（性別・年代・性年代・就業形態）

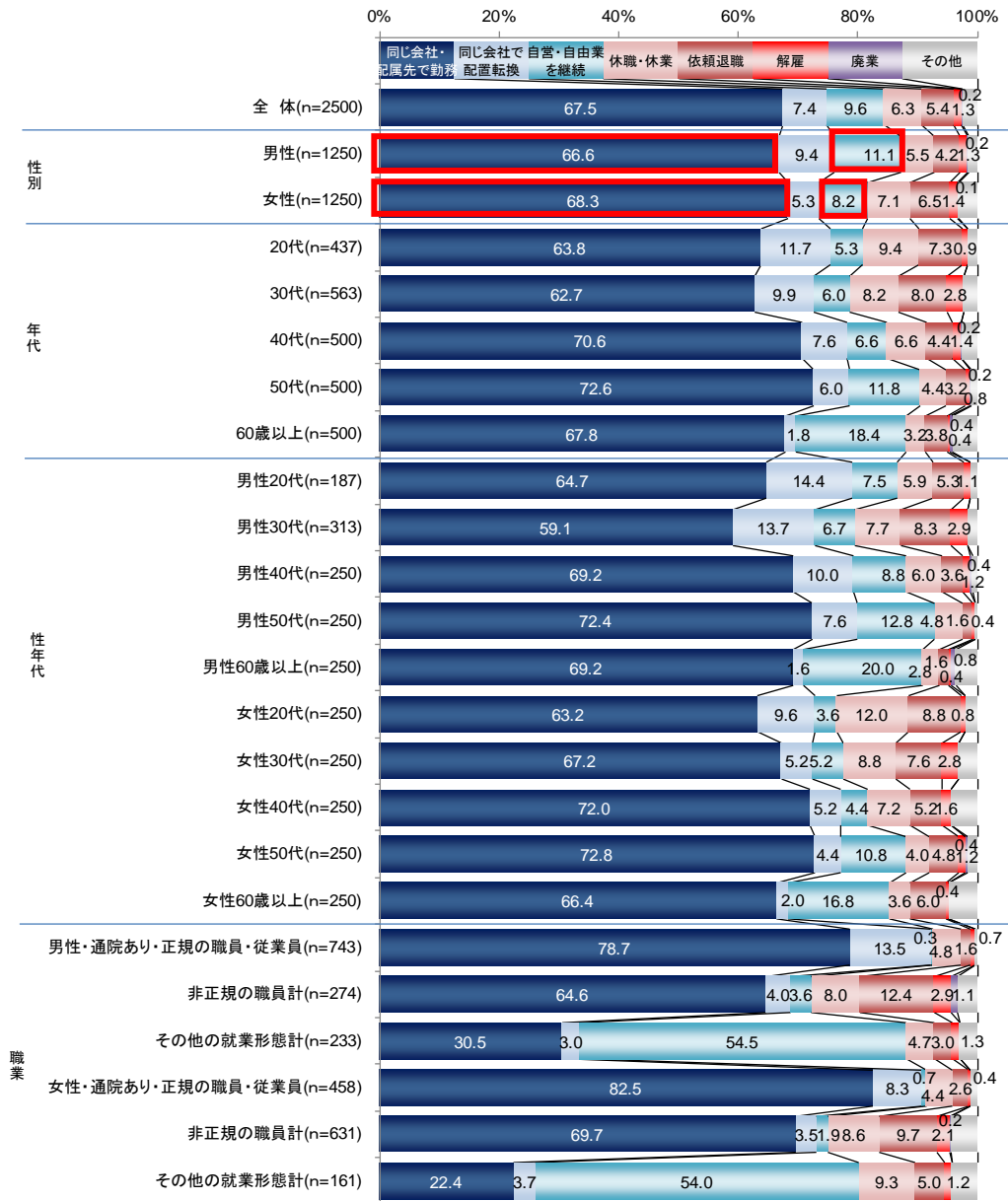


(備考) 通院ありのみの回答。

(2) 通院頻度の最も多い傷病罹患後の就業状況

- 疾病罹患直後から 1 年程度の状況について性別で見ると、男性の 77.7%、女性の 76.5%が罹患時と同じ会社・配属先で継続して勤務、もしくは自営業・自由業を継続している。

図4.8. 通院頻度の最も多い傷病罹患後の就業状況（性別・年代・性年代・就業形態）

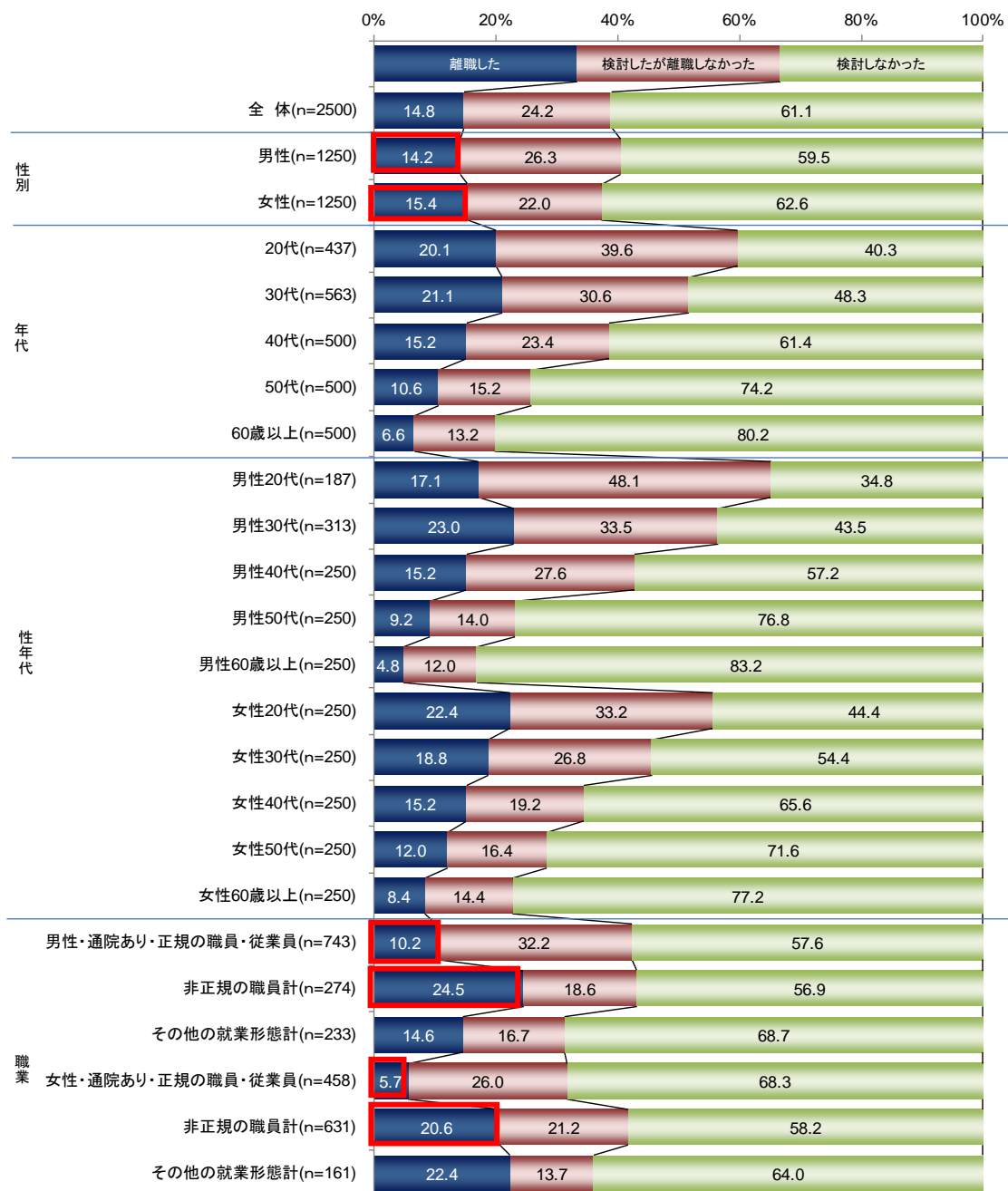


(備考) 通院ありのみの回答。

(3) 通院頻度の最も多い傷病の治療に際する離職検討の有無

- 疾病治療に際しての離職検討の状況を見ると、男性 14.2%、女性の 15.4%が離職している。検討したが離職しなかった者は、男性は 26.3%、女性は 22.0%である。男女ともに非正規の方が離職した割合が高い。

図4.9. 通院頻度の最も多い傷病の治療に際する離職検討の有無（性別・年代・性年代・就業形態）



(備考) 通院ありのみの回答。

(4) 治療しながら働く際に利用している制度

- 治療しながら働く際に利用している社内制度の結果を見ると、男性の30.2%、女性20.1%が「治療目的の休暇・休業制度」を利用している。女性の51.6%が「利用できる制度がない」としている。正規、非正規に関わらず、女性の方が「利用できる制度がない」が高い。

表4.4.治療しながら働く際に利用している制度（性別・年代・性年代・就業形態）

(%)

	治療目的の休暇・休業制度	時間単位の有給休暇の取得	フレックスタイム制度	残業の禁止	慣らし出勤制度	所定労働時間を短縮する制度	在宅勤務制度	失効年次有給休暇の積立制度	時差出勤制度	その他	制度はあるが利用した事はない	利用できる制度がない
全体(n=2500)	25.1	13.7	9.0	6.1	4.6	4.4	4.1	3.8	3.8	1.8	11.2	44.6
性別												
男性(n=1250)	30.2	14.8	11.0	7.8	5.8	4.7	4.2	4.1	4.2	1.9	11.9	37.5
女性(n=1250)	20.1	12.6	7.0	4.4	3.4	4.2	3.9	3.4	3.5	1.6	10.5	51.6
年代												
20代(n=437)	36.8	16.9	8.9	9.2	6.4	8.0	8.0	7.3	5.5	0.2	9.4	32.3
30代(n=563)	29.7	15.8	12.1	9.9	8.5	6.4	3.7	4.1	3.9	2.1	9.9	40.7
40代(n=500)	24.4	14.6	9.2	5.4	4.4	3.4	3.2	3.2	4.6	1.2	9.6	46.4
50代(n=500)	23.8	13.0	7.6	4.2	3.0	2.2	2.2	2.6	2.6	2.4	13.0	44.6
60歳以上(n=500)	11.8	8.4	7.0	1.8	0.4	2.4	3.8	2.0	2.8	2.6	14.0	57.8
性年代												
男性20代(n=187)	44.9	20.3	10.7	12.8	5.9	11.2	8.6	9.6	5.3	-	5.9	21.9
男性30代(n=313)	32.9	15.3	12.5	11.5	10.5	5.8	3.8	4.2	4.5	2.9	8.9	37.1
男性40代(n=250)	30.4	16.0	11.6	6.8	5.2	3.2	3.2	1.6	4.8	1.6	10.0	38.4
男性50代(n=250)	31.2	14.0	10.8	6.0	5.2	2.4	2.4	3.6	4.0	2.4	14.0	34.4
男性60歳以上(n=250)	14.4	9.6	9.2	2.4	0.8	2.4	4.4	2.8	2.4	2.0	20.0	52.0
女性20代(n=250)	30.8	14.4	7.6	6.4	6.8	5.6	7.6	5.6	5.6	0.4	12.0	40.0
女性30代(n=250)	25.6	16.4	11.6	8.0	6.0	7.2	3.6	4.0	3.2	1.2	11.2	45.2
女性40代(n=250)	18.4	13.2	6.8	4.0	3.6	3.6	3.2	4.8	4.4	0.8	9.2	54.4
女性50代(n=250)	16.4	12.0	4.4	2.4	0.8	2.0	2.0	1.6	1.2	2.4	12.0	54.8
女性60歳以上(n=250)	9.2	7.2	4.8	1.2	-	2.4	3.2	1.2	3.2	3.2	8.0	63.6
性 通院・ 職業・ 有無												
男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	40.1	19.9	13.2	9.8	6.9	4.8	4.0	5.4	4.6	1.3	12.1	26.6
非正規の職員計(n=274)	21.5	9.1	6.9	6.6	5.1	6.9	4.0	3.6	4.4	3.3	13.9	45.6
その他の就業形態計(n=233)	8.6	5.2	9.0	3.0	3.0	1.7	5.2	0.4	2.6	2.1	9.0	62.7
女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	28.8	19.9	11.1	5.2	4.1	4.4	3.5	5.5	3.9	0.9	12.0	37.6
非正規の職員計(n=631)	16.0	9.5	4.8	4.1	3.0	4.4	2.7	2.5	3.0	1.9	10.1	59.0
その他の就業形態計(n=161)	11.2	4.3	4.3	3.1	3.1	2.5	9.9	1.2	4.3	2.5	7.5	62.7

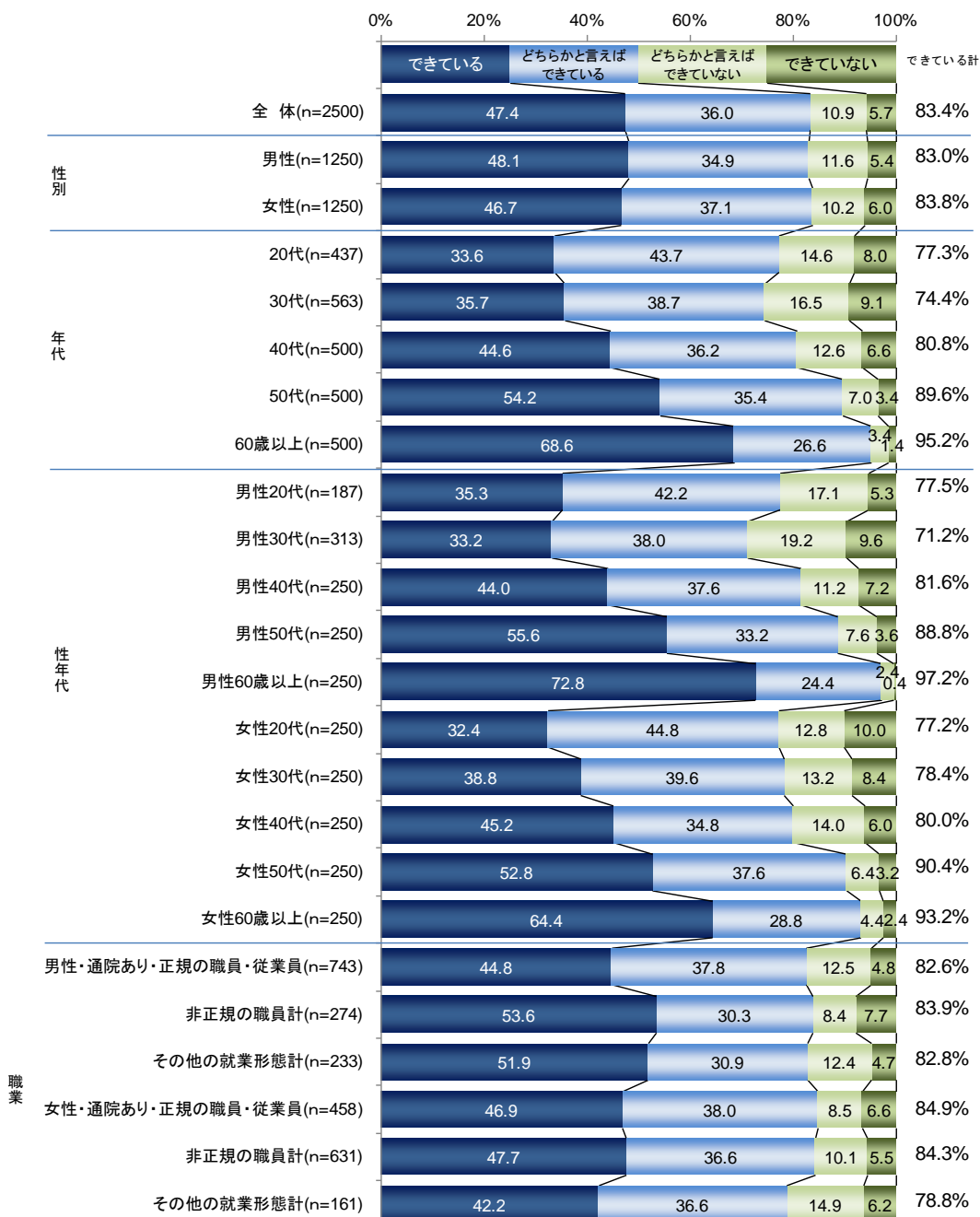
(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

2.通院ありのみの回答。

(5) 現在の仕事と治療の両立状況についての評価

- 現在の仕事と治療の両立の評価を見ると、「できている」という人は、通院ありのうち47.4%、「どちらかと言えばできている」が36.0%で、83.4%が『できている』としている。
- 年代別では、男女ともに概ね若年層ほど「できている」の率が低い。

図4.10. 現在の仕事と治療の両立状況についての評価（性別・年代・性年代・就業形態）

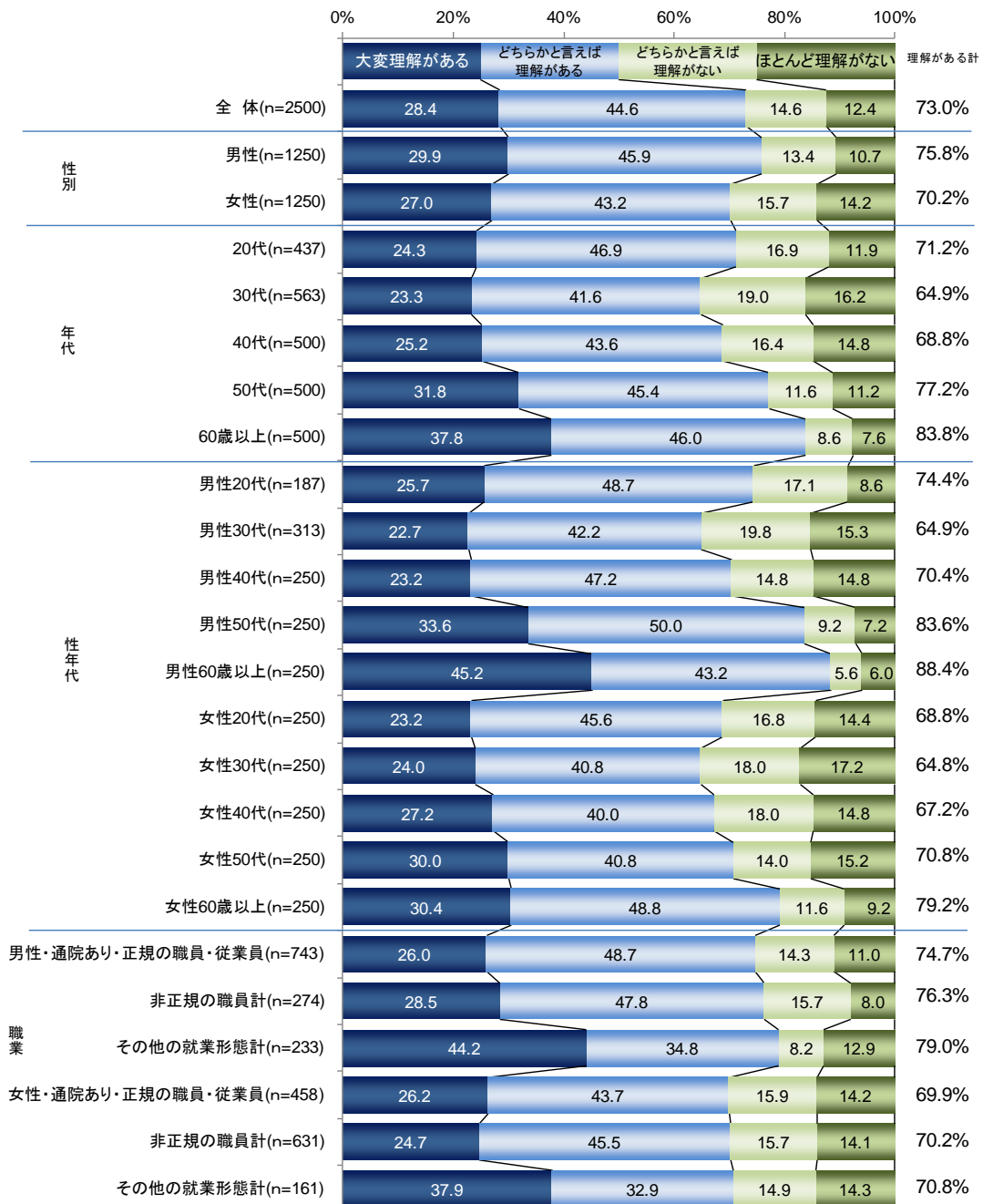


(備考) 通院ありのみの回答。

(6) 自身の体調に対する上司や同僚の理解の有無

- 自身の体調に対して上司や同僚に「大変理解がある」と感じているのは、通院ありの28.4%、「どちらかと言えば理解がある」が44.6%で、73.0%が『理解がある』としている。男性の方が『理解がある』の総計が5ポイント以上高く、男女ともに30代で『理解がある計』が他の年代に比べて低い。

図4.11. 自身の体調に対する上司や同僚の理解の有無（性別・年代・性年代・就業形態）



(備考) 通院ありのみの回答。



(7) 治療と仕事の両立における課題

- 男女ともに「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」「時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの両立支援制度がない」「病気や治療について職場で打ち明けづらい雰囲気である」の順に高い。
- 「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」は女性で3割を超え、女性の非正規の職員で33.4%となっている。

表4.5.通院ありの者の治療と仕事の両立における課題（性別・年代・性年代・就業形態）（%）

		減 少 す る	働 き 方 を 変 え た り 、 休 職 す る こ と で 入 収 が	的 な 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	時 間 単 位 の 有 給 休 暇 や 短 時 間 勤 務 、 治 療 目 的 の 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	病 気 や 治 療 に つ い て 職 場 で 打 ち 明 け づ ら い 雰 囲 気 で あ る	休 業 や 短 時 間 勤 務 に よ り 、 人 事 評 価 が 下 が る	仕 組 み が な い ・ 変 更 な ど を 申 し 出 る	配 置 転 換 や 仕 事 内 容 の 変 更 な ど を 申 し 出 る	両 立 支 援 制 度 等 に つ い て 、 会 社 に 相 談 で き る	し に く い 雰 囲 気 で あ る	的 な 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	時 間 単 位 の 有 給 休 暇 や 短 時 間 勤 務 、 治 療 目 的 の 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	態 を 変 更 で き な い 等	治 療 費 を 確 保 す る た め に 、 入 収 が 減 少 す る	産 業 医 や 産 業 看 護 師 な ど が 相 談 に 乗 っ て く る	通 勤 が 体 的 に 困 難 で あ る	利 益 を 受 け る	休 業 や 短 時 間 勤 務 に よ り 、 退 職 勧 奨 や 降 不 格 を 受 け る	主 治 医 や 担 当 看 護 師 に 仕 事 の 事 を 相 談 し に く い	そ の 他	課 題 だ と 感 じ る こ と は 特 に な い
全体(n=2500)		27.6	21.9	20.1	13.8	13.5	12.2	11.7	10.6	9.2	8.6	8.0	5.4	1.3	39.8							
性別	男性(n=1250)	24.2	20.7	18.4	15.0	14.1	11.8	11.9	9.3	8.4	7.7	8.5	5.0	1.1	41.4							
	女性(n=1250)	31.0	23.1	21.8	12.6	13.0	12.6	11.4	12.0	9.9	9.5	7.4	5.7	1.4	38.2							
年代	20代(n=437)	35.7	33.6	30.4	17.6	19.7	18.5	21.3	11.9	13.0	14.4	11.0	5.0	0.7	19.5							
	30代(n=563)	36.4	26.6	27.2	19.5	16.7	15.5	17.2	14.9	11.9	9.8	11.5	8.2	1.1	27.7							
	40代(n=500)	31.0	21.2	21.8	15.4	15.6	10.2	10.0	12.2	10.6	10.4	8.0	5.2	1.2	38.2							
	50代(n=500)	24.2	17.8	13.6	12.6	10.0	10.2	7.2	10.8	6.0	6.2	7.2	4.4	1.6	45.8							
	60歳以上(n=500)	10.8	11.2	7.8	3.4	6.0	6.8	3.2	3.0	4.4	2.8	2.0	3.6	1.8	66.6							
性年代	男性20代(n=437)	25.1	36.4	27.3	16.6	27.3	17.1	24.6	8.6	11.2	9.6	10.2	3.2	0.5	18.2							
	男性30代(n=563)	35.1	22.7	26.5	20.8	16.9	14.4	17.6	12.8	9.9	9.3	10.9	8.0	0.6	28.1							
	男性40代(n=500)	28.0	20.4	20.8	20.4	15.2	10.8	10.8	10.4	11.2	10.8	12.0	5.2	1.6	41.2							
	男性50代(n=500)	24.0	18.8	12.0	14.0	9.6	10.8	6.8	10.4	5.6	6.0	8.0	4.4	1.2	46.0							
	男性60歳以上(n=500)	6.4	8.8	5.6	2.0	4.0	6.4	1.6	3.2	4.4	2.8	1.2	3.2	1.6	70.8							
	女性20代(n=500)	43.6	31.6	32.8	18.4	14.0	19.6	18.8	14.4	14.4	18.0	11.6	6.4	0.8	20.4							
	女性30代(n=500)	38.0	31.6	28.0	18.0	16.4	16.8	16.8	17.6	14.4	10.4	12.4	8.4	1.6	27.2							
	女性40代(n=500)	34.0	22.0	22.8	10.4	16.0	9.6	9.2	14.0	10.0	10.0	4.0	5.2	0.8	35.2							
	女性50代(n=500)	24.4	16.8	15.2	11.2	10.4	9.6	7.6	11.2	6.4	6.4	6.4	4.4	2.0	45.6							
女性60歳以上(n=500)	15.2	13.6	10.0	4.8	8.0	7.2	4.8	2.8	4.4	2.8	2.8	4.0	2.0	62.4								
性別・通院・有職無業	男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	25.3	24.5	21.0	19.4	16.4	13.3	15.9	10.8	10.2	6.9	10.6	5.1	1.2	34.7							
	非正規の職員計(n=274)	24.8	22.6	18.2	11.7	13.1	13.1	6.6	8.0	6.6	7.3	6.2	5.8	1.1	45.3							
	その他の就業形態計(n=233)	20.2	6.4	10.3	4.7	7.7	5.2	5.6	6.0	4.7	10.7	4.3	3.9	0.9	57.9							
	女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	29.7	26.6	23.8	16.8	14.8	15.9	14.8	12.4	14.8	8.5	9.4	7.4	0.7	32.3							
	非正規の職員計(n=631)	33.4	23.6	22.3	10.6	12.2	11.4	10.1	12.2	7.8	9.2	7.0	4.4	1.6	38.2							
その他の就業形態計(n=161)	25.5	11.2	13.7	8.1	10.6	7.5	6.8	9.9	4.3	13.7	3.7	5.6	3.1	54.7								

(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

2.通院ありのみの回答。

(8) 疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったこと

- 疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったことの結果を見ると、「仕事を効率的に進めること」は、男性の方が女性よりも9%ポイント高い。
- 「上司とコミュニケーションをとる」は男女とも若年層で高い。「決めた時間に仕事が終わらなくても確実に帰ること」は男性30代・40代で高い。

表4.6.疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったこと  
(性別・年代・性年代・就業形態)

(%)

		仕事を効率的に進めること	仕事の質を落とさない事	職場の同僚とコミュニケーションをとること	時間内に確実に仕事を終えること	上司とコミュニケーションをとること	決めた時間に仕事が終わらなくても確実に帰ること	職場の同僚・上司に仕事を引き継げるようにしておくこと	スキルアップを図ること	顧客や取引先とコミュニケーションをとること	仕事と治療・育児・介護などを両立している人とコミュニケーションをとること	その他
全体(n=2500)		44.3	37.9	28.6	27.8	23.7	17.6	14.8	10.6	6.3	5.1	7.5
性別	男性(n=1250)	48.8	38.6	27.7	26.7	24.4	18.6	13.8	12.1	8.2	4.2	6.2
	女性(n=1250)	39.8	37.1	29.4	29.0	23.0	16.6	15.8	9.0	4.3	6.1	8.9
年代	20代(n=437)	42.8	37.1	31.4	28.1	31.8	15.6	17.2	11.7	6.4	7.6	6.4
	30代(n=563)	43.5	37.3	34.1	30.9	29.3	21.8	13.7	13.5	5.3	6.9	6.2
	40代(n=500)	44.2	32.6	28.2	27.2	24.8	19.0	15.2	8.8	5.6	4.8	8.6
	50代(n=500)	45.0	37.4	25.0	24.2	19.8	17.6	15.6	6.8	6.2	3.2	7.8
	60歳以上(n=500)	46.0	45.0	23.8	28.4	13.2	13.2	12.8	11.8	8.0	3.2	8.6
	性年代	男性20代(n=187)	49.2	42.2	31.6	30.5	34.2	15.0	10.7	10.7	6.4	8.6
	男性30代(n=313)	44.4	34.5	34.2	26.8	31.3	23.3	14.7	14.7	6.7	6.7	4.8
	男性40代(n=250)	48.8	36.0	23.6	24.0	22.0	24.0	12.8	12.8	10.0	2.4	7.6
	男性50代(n=250)	49.6	37.6	24.0	26.0	21.6	15.6	16.4	8.4	8.8	2.0	6.4
	男性60歳以上(n=250)	53.2	44.8	24.4	27.2	13.6	13.2	13.2	12.8	9.2	1.6	9.2
	女性20代(n=250)	38.0	33.2	31.2	26.4	30.0	16.0	22.0	12.4	6.4	6.8	9.6
	女性30代(n=250)	42.4	40.8	34.0	36.0	26.8	20.0	12.4	12.0	3.6	7.2	8.0
	女性40代(n=250)	39.6	29.2	32.8	30.4	27.6	14.0	17.6	4.8	1.2	7.2	9.6
	女性50代(n=250)	40.4	37.2	26.0	22.4	18.0	19.6	14.8	5.2	3.6	4.4	9.2
	女性60歳以上(n=250)	38.8	45.2	23.2	29.6	12.8	13.2	12.4	10.8	6.8	4.8	8.0
性別・通院・就業形態	男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	51.7	38.0	30.0	27.9	28.5	19.2	16.4	11.4	8.3	4.7	5.7
	非正規の職員計(n=274)	43.1	38.3	33.9	28.8	26.6	17.9	11.3	12.0	3.6	2.9	7.3
	その他の就業形態計(n=233)	46.4	41.2	12.9	20.6	8.6	17.6	8.2	14.2	13.3	3.9	6.4
	女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	48.7	39.1	30.8	33.4	25.1	13.8	19.0	9.8	3.5	7.9	7.4
	非正規の職員計(n=631)	34.5	34.9	32.3	28.1	23.6	19.0	14.4	8.4	2.9	5.7	9.4
	その他の就業形態計(n=161)	35.4	40.4	14.3	19.9	14.9	14.9	12.4	9.3	12.4	2.5	11.2

(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。  
2.通院ありのみの回答。

## 第5章 資料編

### 1 国民生活基礎調査から見る健康に関する実態（特別集計） 集計表

第3章で掲載した集計表以外に特別集計した集計結果を参考まで掲載する。

#### （1）年代別通院しながら働いている人の最も気になる傷病

表 5.1. 年代別に見た通院しながら働いている人の最も気になる傷病（平成 28 年・男性）  
（千人）

	内 分 泌 ・ 代 謝 障 害	精 神 ・ 神 経	循 環 器 系	呼 吸 器 系	消 化 器 系	歯 の 病 気	皮 膚	筋 骨 格 系	損 傷	貧 血 ・ 血 液 の 病 気	悪 性 新 生 物 （ がん）	不 妊 症	そ の 他
15～19歳(n=44)	1	3	1	7	1	4	11	4	7	-	-	-	5
20～29歳(n=469)	13	35	9	55	23	90	96	66	27	1	3	-	50
30～39歳(n=1,024)	69	106	57	95	54	183	121	199	42	3	2	2	91
40～49歳(n=1,973)	290	137	360	121	120	237	124	343	52	7	8	0	174
50～59歳(n=2,657)	505	100	821	107	145	187	63	428	44	10	34	-	212
60～69歳(n=3,128)	634	47	1,160	119	167	166	49	498	23	8	54	-	202
70～79歳(n=1,152)	197	18	421	48	57	37	20	232	13	4	25	-	79
80歳以上(n=252)	27	7	95	8	12	8	3	62	3	1	5	-	21

（備考）1.赤色のセルは上位3項目

2.「最も気になる傷病」の傷病名の内訳についてはP12を参照。

3.各n値は、傷病の「不詳」、「不明」を除いた総数。

表 5.2. 年代別に見た通院しながら働いている人の最も気になる傷病（平成 28 年・女性）  
（千人）

	内 分 泌 ・ 代 謝 障 害	精 神 ・ 神 経	循 環 器 系	呼 吸 器 系	消 化 器 系	歯 の 病 気	皮 膚	筋 骨 格 系	損 傷	貧 血 ・ 血 液 の 病 気	悪 性 新 生 物 （ がん）	不 妊 症	そ の 他
15～19歳(n=52)	2	5	0	7	1	8	11	8	2	0	0	-	7
20～29歳(n=647)	21	66	12	59	19	106	115	80	15	7	3	14	129
30～39歳(n=1,020)	56	93	22	99	39	133	111	152	25	21	14	37	217
40～49歳(n=1,790)	146	103	147	149	72	248	121	349	45	64	43	12	291
50～59歳(n=2,234)	347	74	383	115	99	222	98	487	52	22	69	-	266
60～69歳(n=2,036)	430	36	525	84	85	151	39	417	29	8	40	-	194
70～79歳(n=714)	120	15	212	16	34	26	7	186	16	3	8	-	70
80歳以上(n=172)	17	4	63	2	7	5	3	47	5	1	1	-	17

（備考）1.赤色のセルは上位3項目

2.「最も気になる傷病」の傷病名の内訳についてはP12を参照。

3.各n値は、傷病の「不詳」、「不明」を除いた総数。

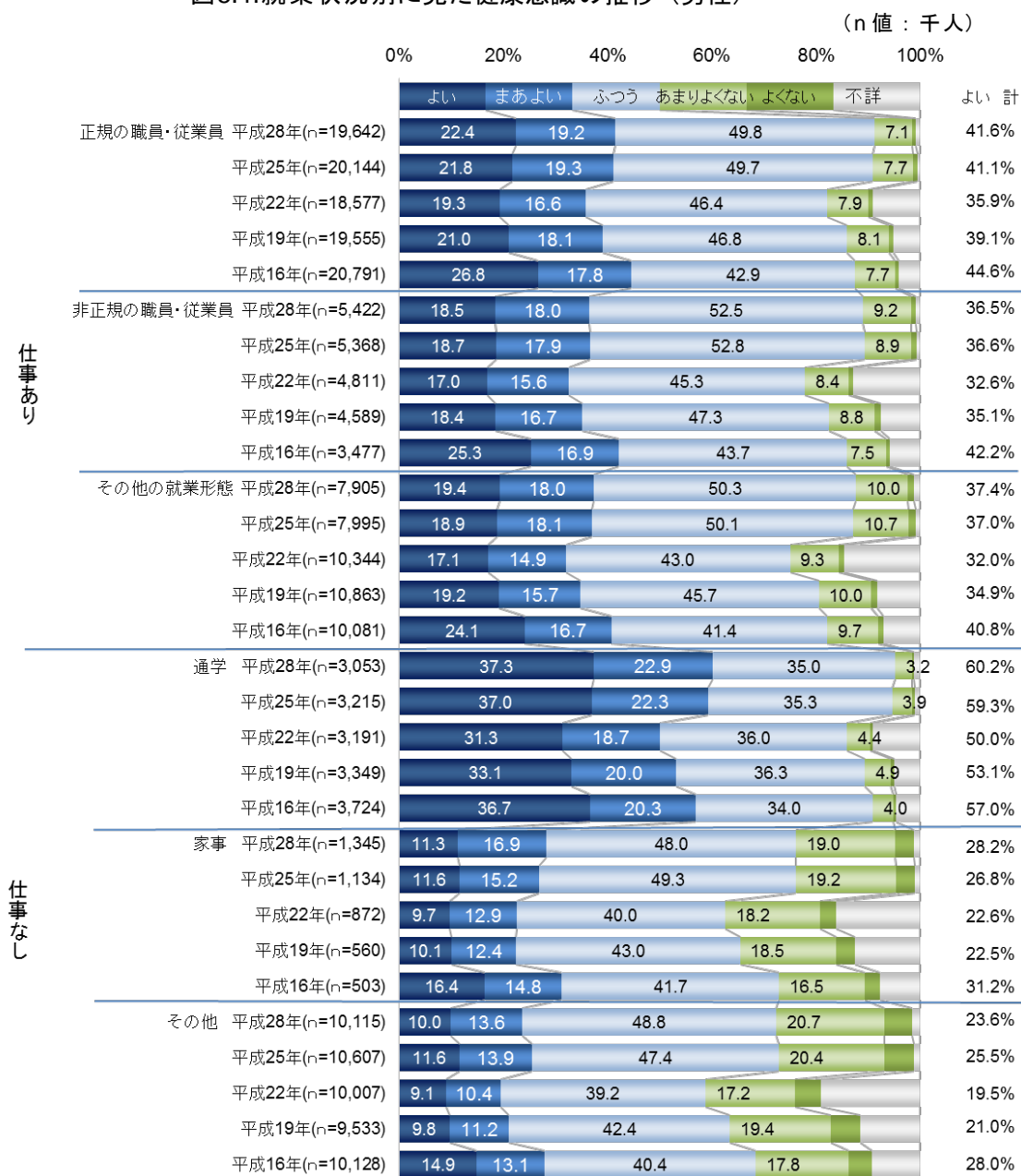
(2) 就業状況と健康に関する実態

① 就業状況別に見た健康意識の推移

【健康意識：現在の健康状態を「よい」、「まあよい」、「ふつう」、「あまりよくない」、「よくない」から選択】

【男性】

図5.1. 就業状況別に見た健康意識の推移（男性）

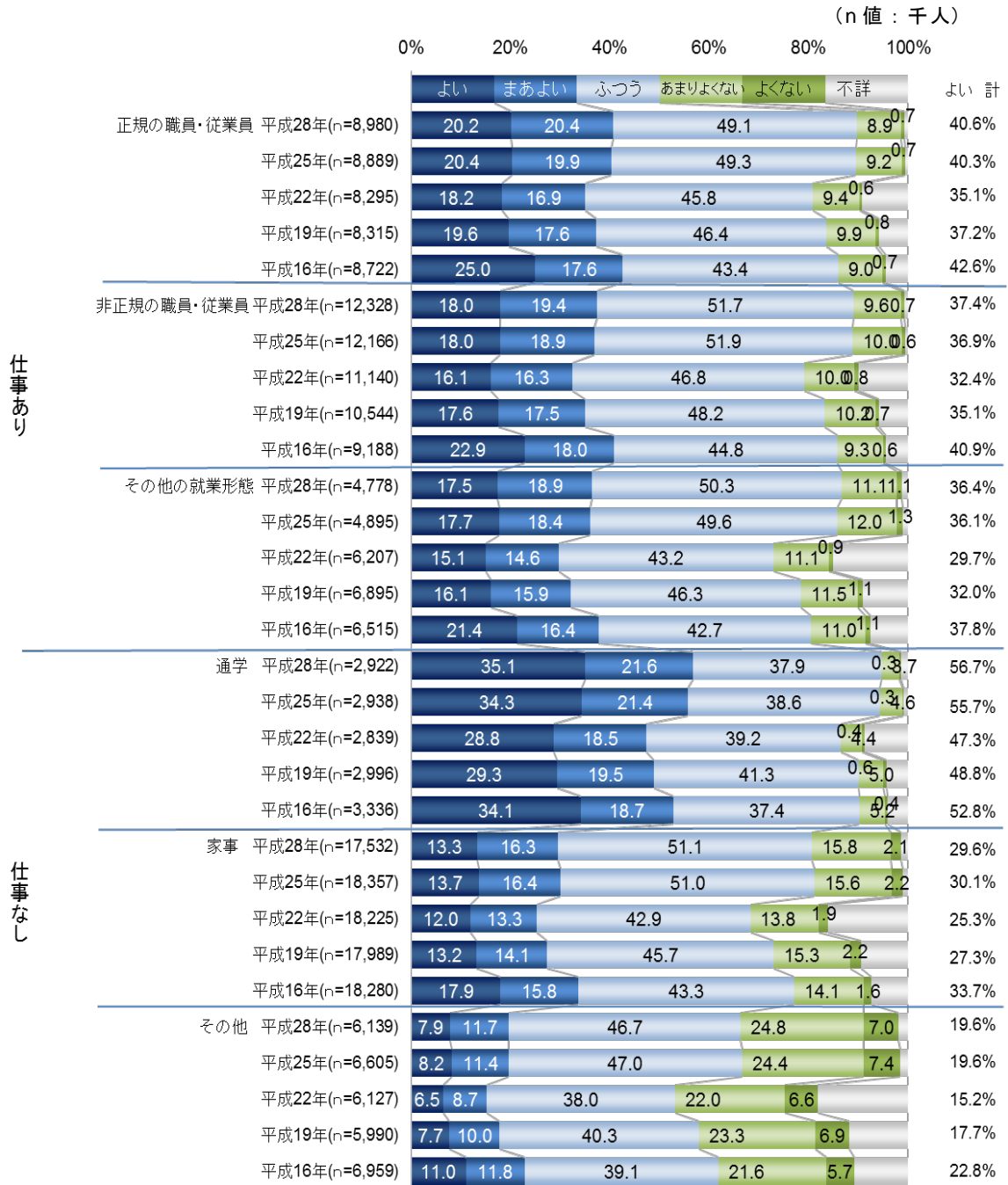


(備考) 1.表中「よくない」、「不詳」については数値を省略した。

2. 右欄外の「よい計」は、回答の「よい」と「まあよい」を合計した数値。

【女性】

図5.2. 就業状況別に見た健康意識の推移（女性）



(備考) 1.表中「よくない」、「不詳」については数値を省略した。

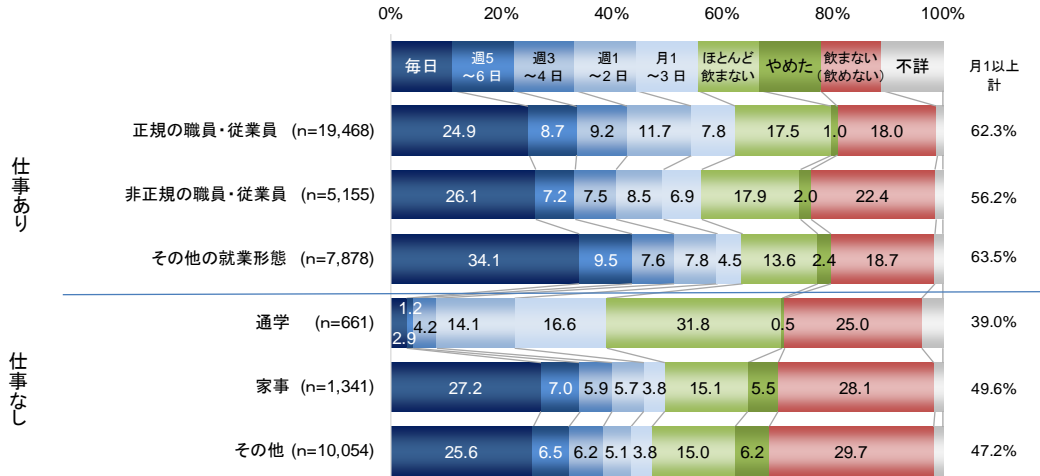
2. 右欄外の「よい 計」は、回答の「よい」と「まあよい」を合計した数値。

② 就業状況別に見た日ごろの飲酒の状況

【飲酒：週に何日お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲んでいるか】

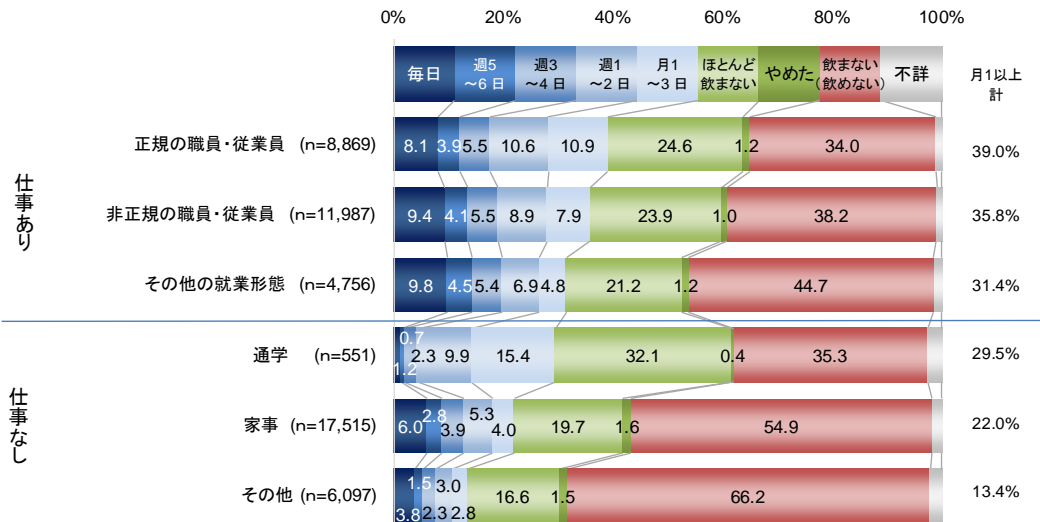
【男性】

図5.3.就業状況別に見た日ごろの飲酒の状況（平成28年・男性）  
（n値：千人）



【女性】

図5.4.就業状況別に見た日ごろの飲酒の状況（平成28年・女性）  
（n値：千人）

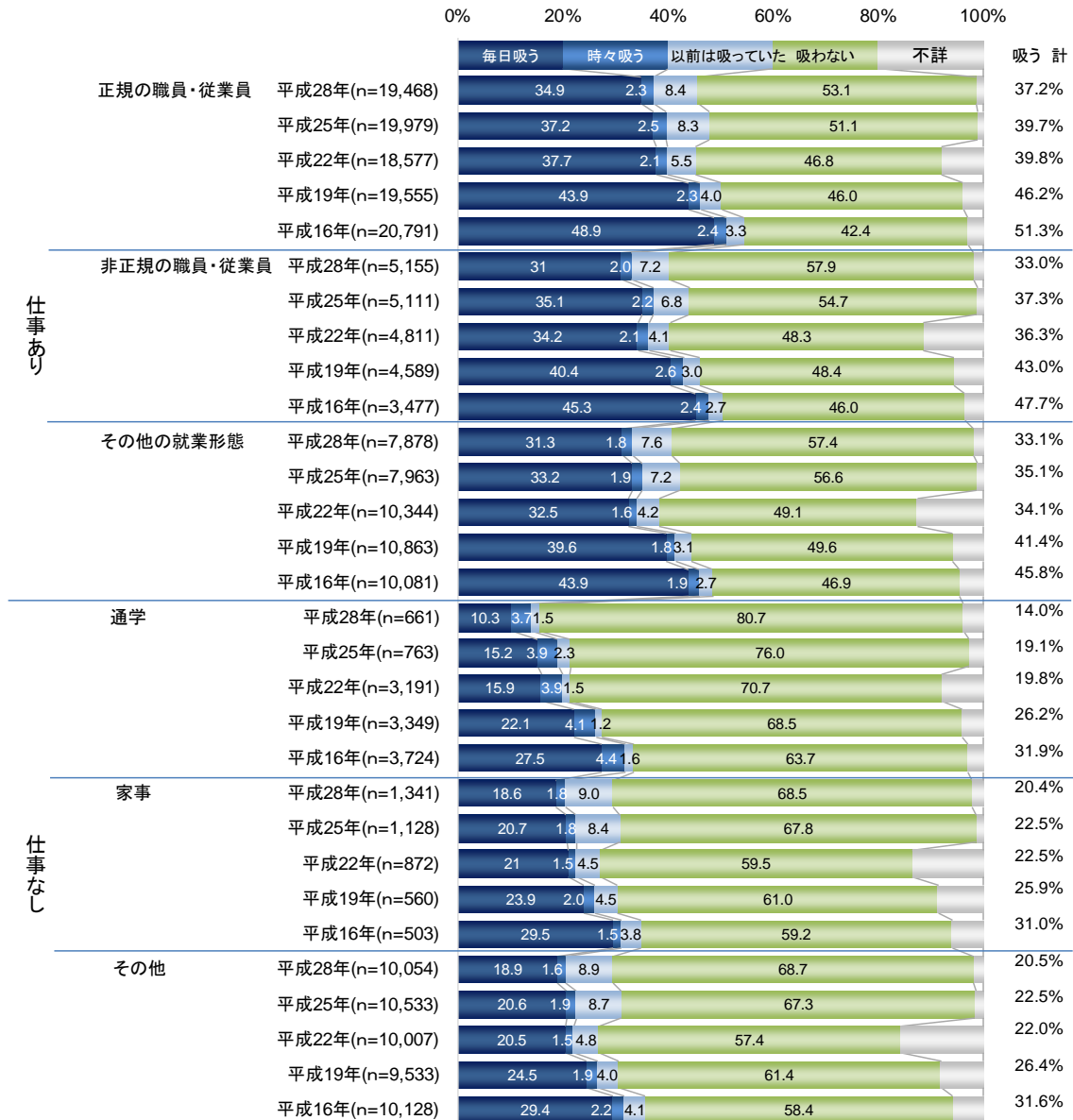


（備考）20歳以上

③ 就業状況別に見た日ごろの喫煙状況  
【喫煙：たばこを吸う頻度】

【男性】

図 5.5.就業状況別に見た日ごろの喫煙状況の推移（男性）（n 値：千人）



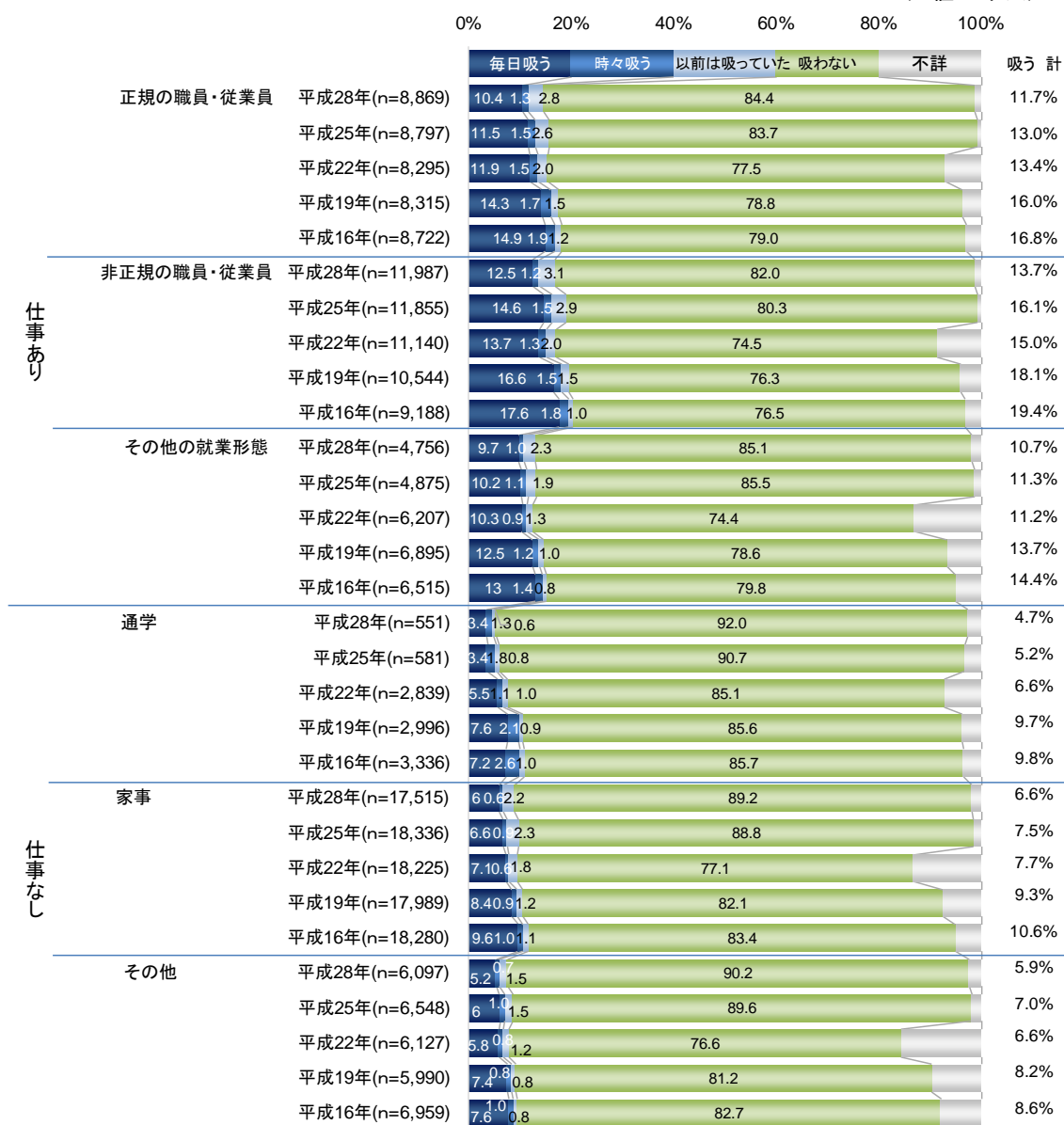
(備考) 1. 20 歳以上

2. 右欄外の「吸う 計」とは、「毎日吸う」と「時々吸う」を足した数値。

【女性】

図 5.6. 就業状況別に見た日ごろの喫煙状況の推移（女性）

(n 値：千人)



(備考) 1.20歳以上

2.右欄外の「吸う計」とは、「毎日吸う」と「時々吸う」を足した数値。



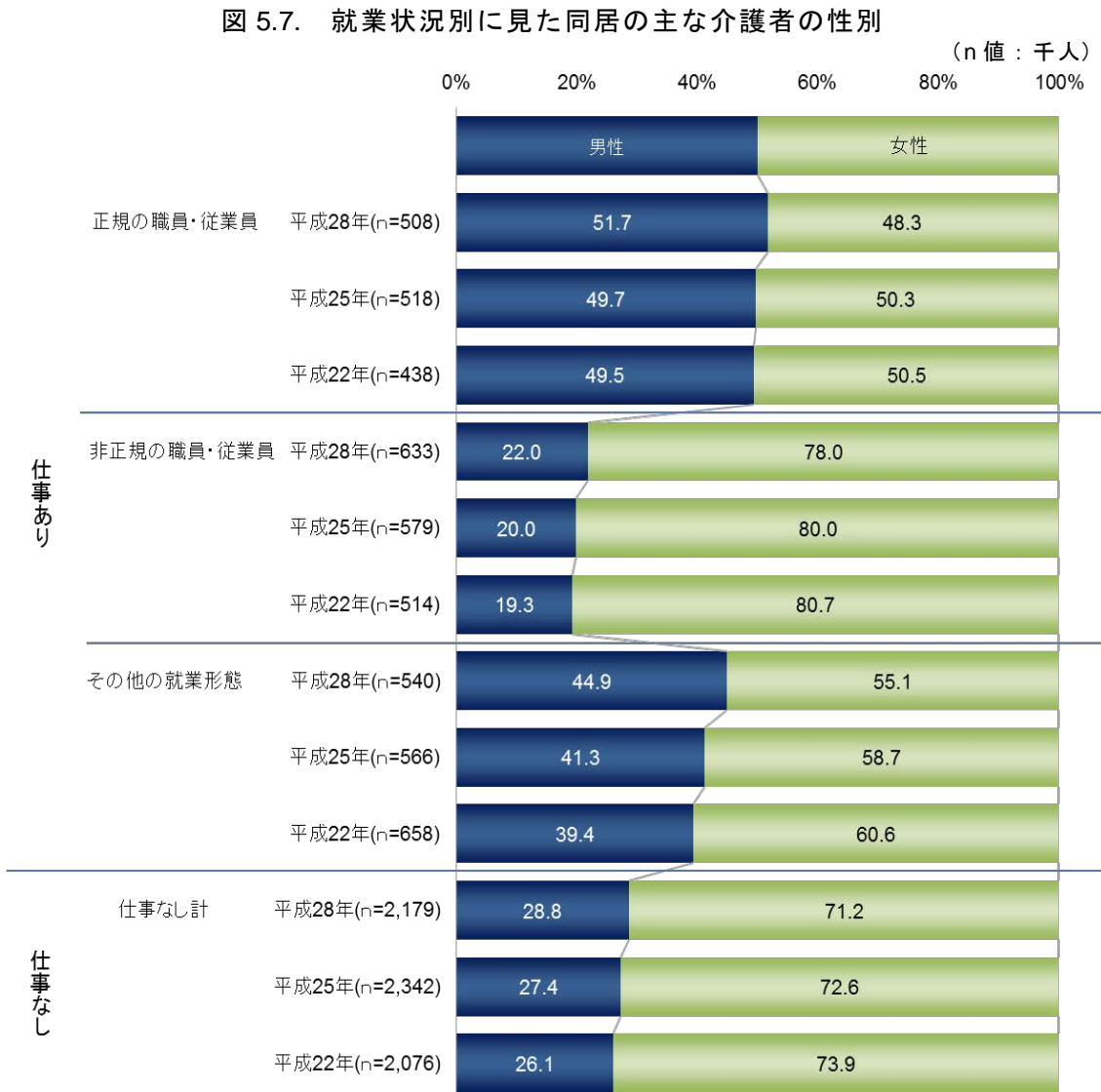
(3)介護しながら働いている人の実態

①介護者の状況

※以下、1)～3)は共通して、15歳以上の介護者(世帯票)と手助けや見守りを要する者(世帯票)が同居している場合の結果である。

なお、手助けや見守りを要する者とは、在宅の6歳以上の世帯員であって、歩行・移動、着替え、洗面、食事、排せつ、入浴等に際して何らかの手助けや見守りを必要とする者や、意思疎通が困難な者、介護保険法による「要介護」「要支援」の認定を受けている者などをいう。

1) 就業状況別に見た同居の主な介護者の性別



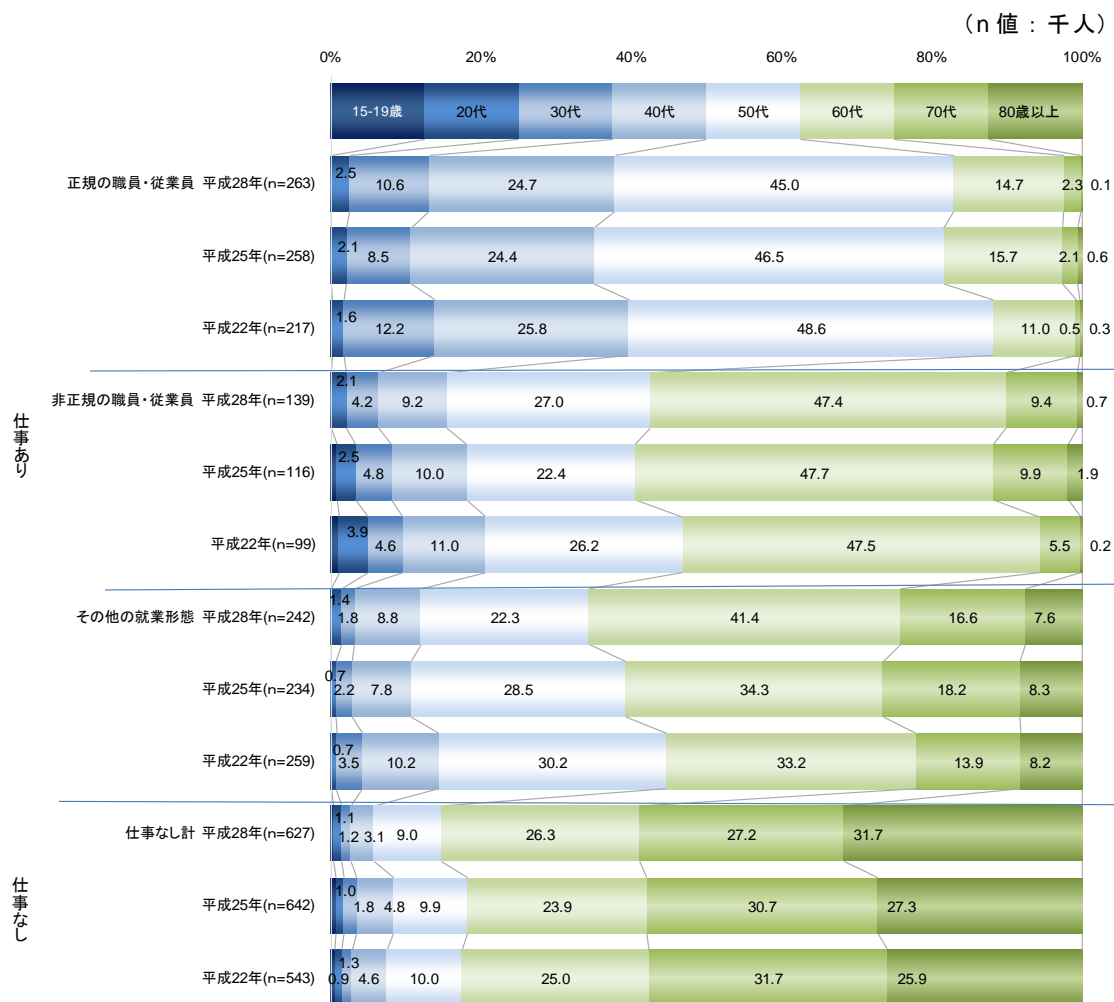
(備考) 各 n 値は、性別不詳を除いた総数。

## 2) 同居の主な介護者の就業状況と年代の関係

【グラフの見方：例えば、男性の正規職員(平成28年)の介護者は、50代が45.0%、40代が24.7%である。】

【男性】

図 5.8. 就業状況別に見た同居の主な介護者の年代（男性）



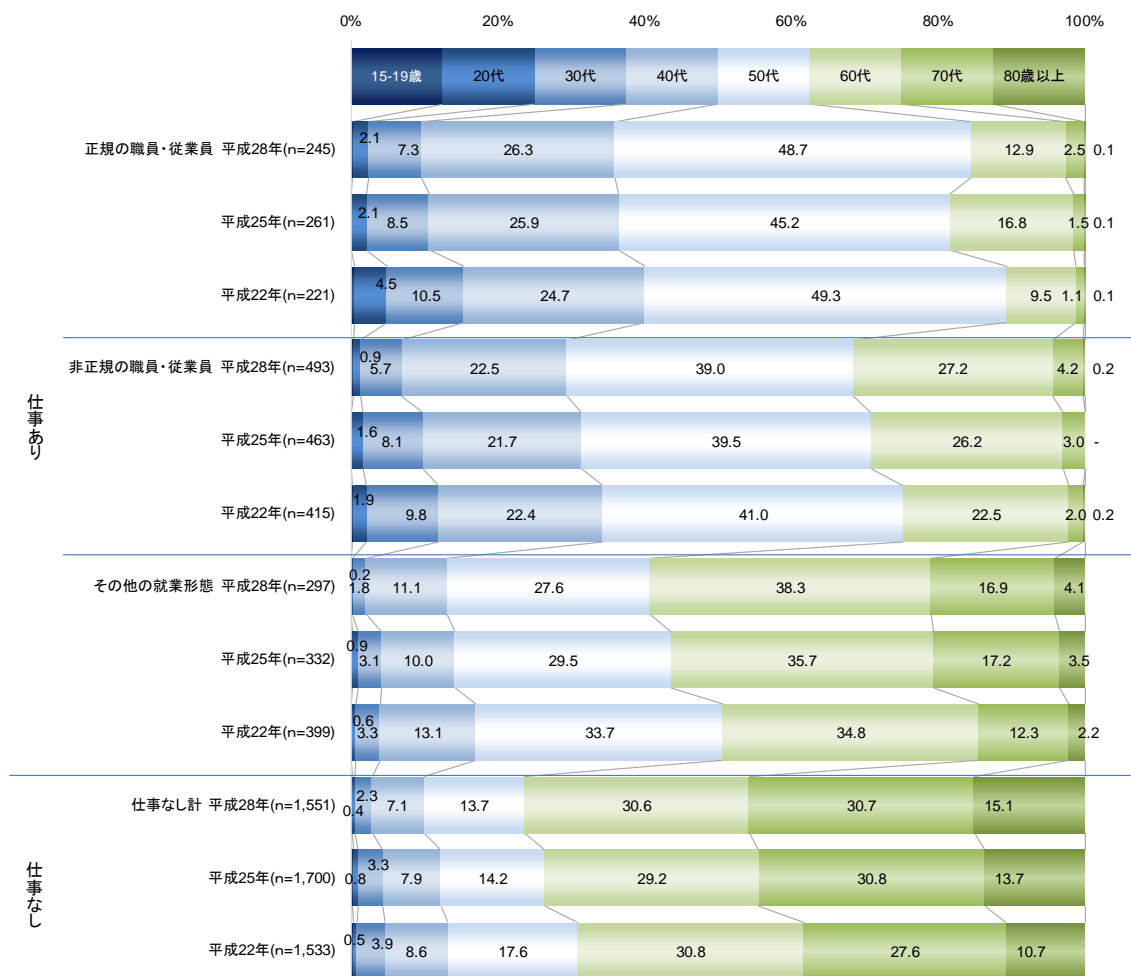
(備考) 1. 各 n 値は、年齢不詳を除いた総数。

2. 「15～19 歳」の数値は省略。

【女性】

図 5.9. 就業状況別に見た同居の主な介護者の年代（女性）

(n 値：千人)



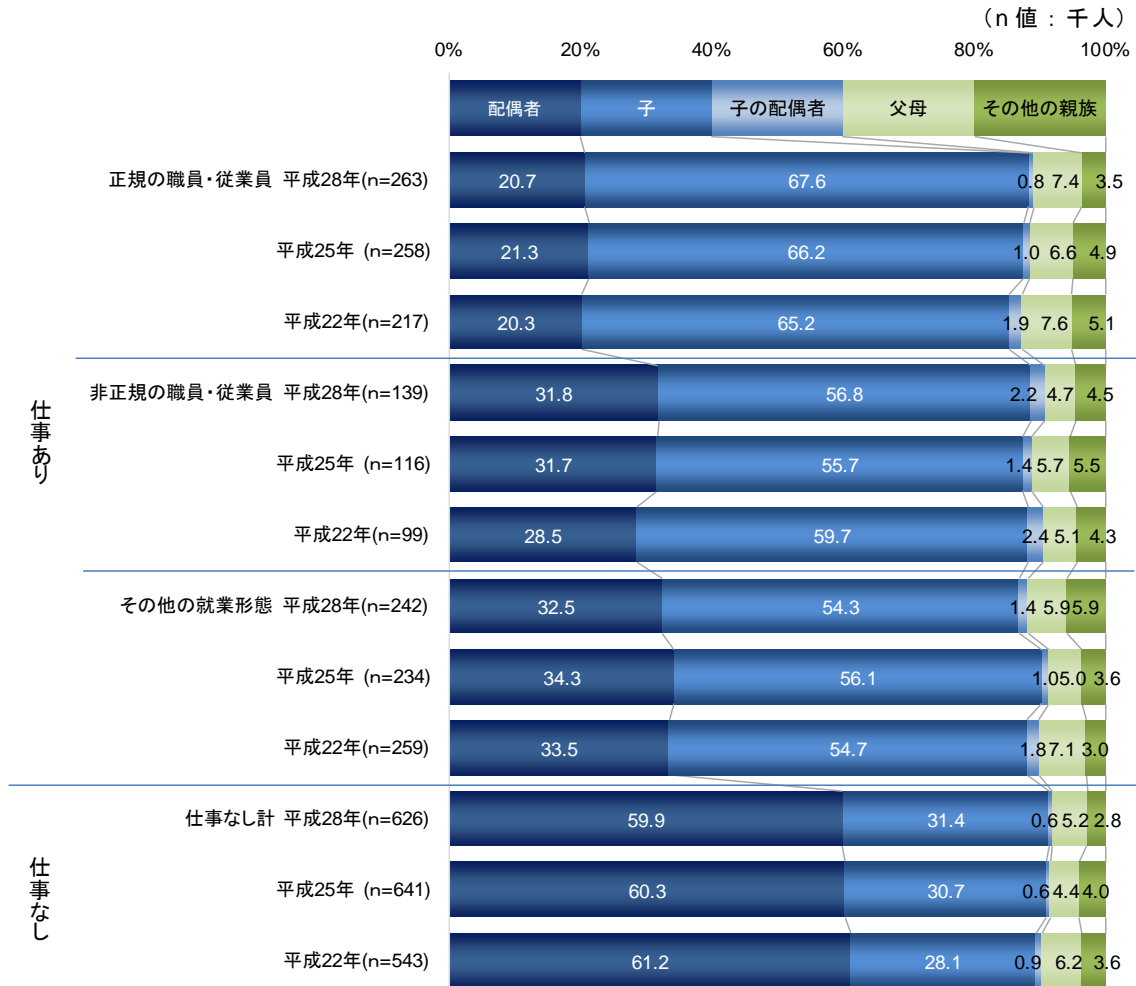
(備考) 1. 各 n 値は、年齢不詳を除いた総数。  
 2. 「15～19 歳」の数値は省略。

### 3) 同居の主な介護者の就業状況と続柄の関係

【グラフの見方：例えば、男性の正規職員(平成28年)をみると、「子」が67.6%であるが、これは、介護されている者からみた介護者の続柄であるので、介護者が介護されている者の「子」であることを現す。介護者から見ると「実親」を介護しているということ。また、女性の正規職員(平成28年)をみると、「子の配偶者」が20.6%であるが、これは、介護者が介護されている者の「子の配偶者」(息子の妻)であり、介護者から見ると「夫の親」を介護しているということ。】

#### 【男性】

図 5.10.同居の主な介護者の就業状況と手助けや見守りを要する者からみた介護者の続柄 (男性)

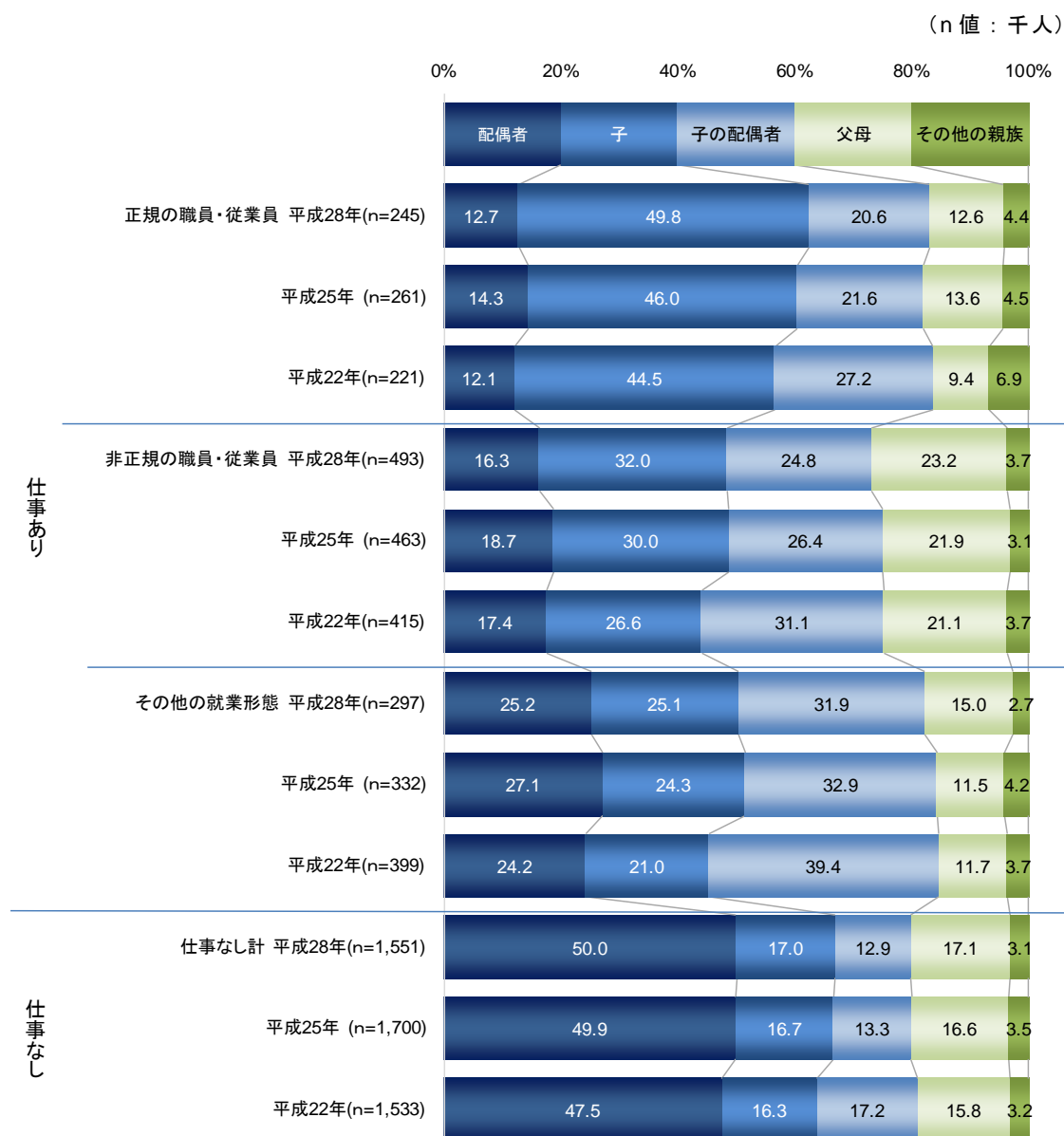


(備考) 1. 各 n 値は、続柄不詳を除いた総数。

2. 国民生活基礎調査では、「続柄」は、上記の他に「事業者」、「その他(ボランティアなど)」の選択肢もあるが、本調査では、同居の介護者の視点から集計をおこなったため、「事業者」、「その他(ボランティアなど)」については集計から除いている。

【女性】

図 5.11.同居の主な介護者の就業状況と手助けや見守りを要する者からみた介護者の続柄  
(女性)



(備考) 1. 各 n 値は、続柄不詳を除いた総数。

2. 国民生活基礎調査では、「続柄」は、上記の他に「事業者」、「その他(ボランティアなど)」の回答もあるが、本調査では、同居の介護者の視点から集計をおこなったため、「事業者」、「その他(ボランティアなど)」については集計から除いている。

## ②介護者と介護を要する者との関係

※以下、1)～2)は共通して、15歳以上の介護者(世帯票)と40歳以上の介護を要する者(介護票)が同居している場合の結果である。

なお、介護を要する者とは、介護保険法の要支援又は要介護と認定された者のうち、在宅の者をいう。

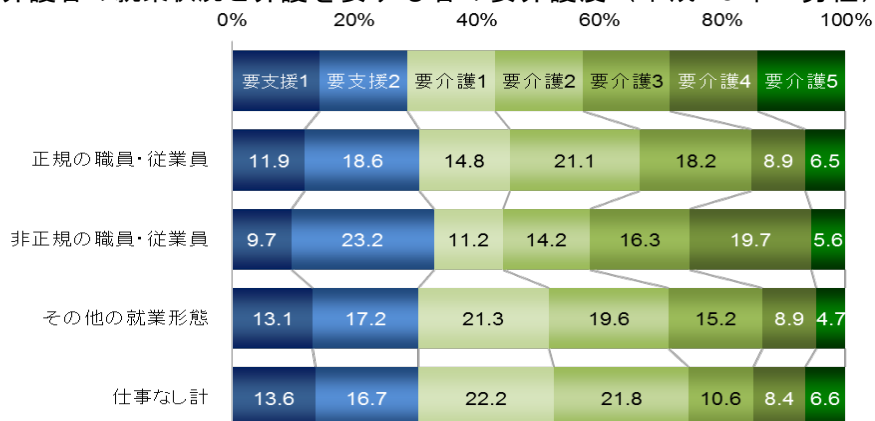
また、集計に際しては、介護を要する者10万人あたりに換算した(介護を要する者数10万対)介護者数及び要介護者数を集計した。

### 1) 介護を要する者の現在の要介護度の状況(要介護度については次頁参照)

【グラフの見方: 介護者が介護をしている者の現在の要介護度の状況を表している。男性の正規職員をみると、要介護度2が21.1%であるが、要介護度2の要介護者を介護している割合が21.1%ということ。】

#### 【男性】

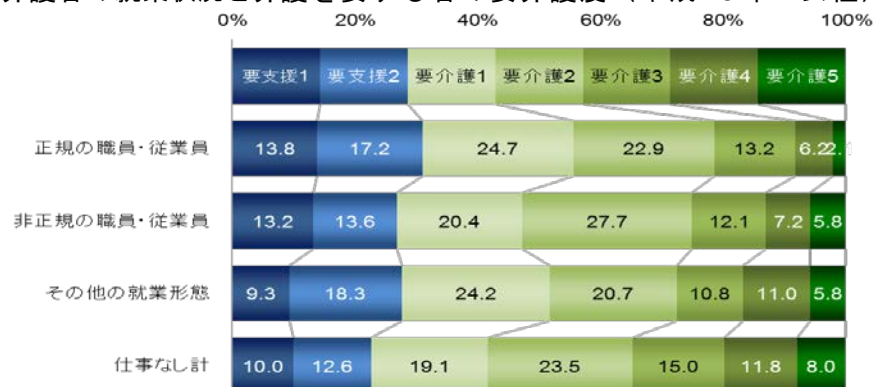
図 5.12.同居の主な介護者の就業状況と介護を要する者の要介護度(平成28年・男性)



(備考)「要介護度不詳」を除いた総数で集計した結果。

#### 【女性】

図 5.13.同居の主な介護者の就業状況と介護を要する者の要介護度(平成28年・女性)



(備考)「要介護度不詳」を除いた総数で集計した結果。

\* 要介護度の状況について(国民生活基礎調査用語解説より)

要介護度の状況とは、「要介護認定等にかかる介護認定審査会による審査及び判定の基準等に関する省令(平成18年3月14日厚生労働省令第32号)に定められている「要介護認定等基準時間」により分類されたものをいう。

#### 要介護認定等基準時間の分類

- ・ 直接生活介助—入浴、排せつ、食事等の介護
- ・ 間接生活介助—洗濯、掃除等の家事援助等
- ・ B P S D関連介助—徘徊に対する探索、不潔な行為に対する後始末等
- ・ 機能訓練関連行為—歩行訓練、日常生活訓練等の機能訓練
- ・ 医療関連行為—輸液の管理、じょく瘡の処置等の診療の補助等

#### 1 要支援1

上記5分野の要介護認定等基準時間が25分以上32分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 2 要支援2

要支援状態の継続見込期間にわたり継続して常時介護を要する状態の軽減又は悪化の防止に特に資する支援を要すると見込まれ、上記5分野の要介護認定等基準時間が32分以上50分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 3 要介護1

上記5分野の要介護認定等基準時間が32分以上50分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 4 要介護2

上記5分野の要介護認定等基準時間が50分以上70分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 5 要介護3

上記5分野の要介護認定等基準時間が70分以上90分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 6 要介護4

上記5分野の要介護認定等基準時間が90分以上110分未満である状態又はこれに相当する状態

#### 7 要介護5

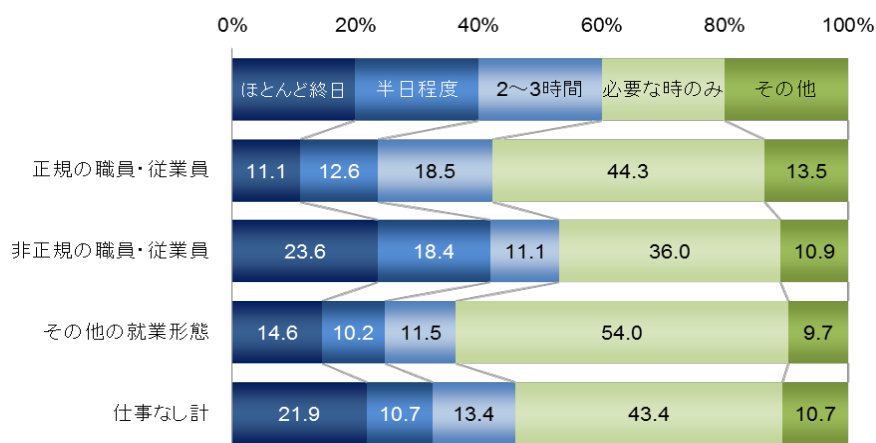
上記5分野の要介護認定等基準時間が110分以上である状態又はこれに相当する状態

## 2) 介護者の介護時間

【グラフの見方：介護者が介護をしている時間を表している。男性の正規職員をみると、「必要な時のみ」介護している介護者が44.3%であるということ】

【男性】

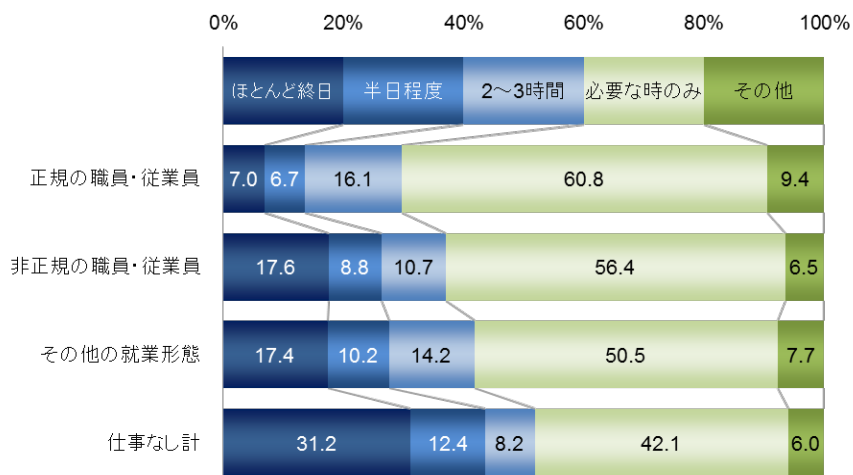
図 5.14.同居の主な介護者の就業状況と介護時間（平成 28 年・男性）



（備考）「介護時間不詳」を除いた総数で集計した結果。

【女性】

図 5.15.同居の主な介護者の就業状況と介護時間（平成 28 年・女性）



（備考）「介護時間不詳」を除いた総数で集計した結果。



## 2 男女の健康意識に関する調査 調査票

**SC1 必須** 最近1カ月で、収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」、全く仕事をしなかった方は「仕事なし」の中からお答えください。

※無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。  
PTA役員やボランティア等無報酬の活動は「仕事なし」とします。  
なお、家事には、育児、介護などを含めます。

### <仕事あり>

- 1.主に仕事をしている
- 2.主に家事で仕事あり
- 3.主に通学で仕事あり
- 4.その他：  **(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)**

### <仕事なし>

- 5.通学
- 6.家事
- 7.その他

### 質問表示条件

#### 条件式

(SC1 or 1~4)

**SC2 必須** 主な仕事について、あてはまるものをお答えください。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 1.正規の職員・従業員     | <input type="radio"/> 7.会社・団体等の役員   |
| <input type="radio"/> 2.パート           | <input type="radio"/> 8.自営業主（雇人あり）  |
| <input type="radio"/> 3.アルバイト         | <input type="radio"/> 9.自営業主（雇人なし）  |
| <input type="radio"/> 4.労働者派遣事業所の派遣社員 | <input type="radio"/> 10.家族従業者（自家営業の手伝い）  |
| <input type="radio"/> 5.契約社員          | <input type="radio"/> 11.内職   |
| <input type="radio"/> 6.嘱託            | <input type="radio"/> 12.その他： <input type="text"/> <b>(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)</b> |

**SC3** あなたは現在、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。  
**必須** また、どのような傷病（病気やけが）で通っていますか。  
あてはまる傷病名をお答えください。  
(いくつでも)

- 1.悪性新生物（がん）\*
- 2.脳卒中（脳出血、脳梗塞等）\*
- 3.狭心症・心筋梗塞\*
- 4.糖尿病\*
- 5.うつ病やその他のこころの病気\*
- 6.関節リウマチ\*
- 7.骨粗しょう症\*
- 8.バセドウ病、橋本病\*
- 9.更年期障害\*
- 10.不妊症\*  
(妊娠を望みながら1年間以上妊娠の兆しがない、不妊症について受診したことがある等)
- 11.性感染症\*  
(性器クラミジア感染、性器ヘルペスウイルス感染、淋病、梅毒等)
- 12.子宮内膜症\*
- 13.子宮筋腫\*
- 14.卵巣嚢腫\*
- 15.月経困難症\*  
(子宮筋腫や子宮内膜症で月経困難症、月経痛が強く病院にかかっている等)
- 16.妊娠・産褥期の傷病\*  
(妊娠悪阻、妊娠浮腫、妊娠蛋白尿、妊娠中毒症、切迫流産、前置胎盤等)
- 17.産後うつ\*  
(産後約2週～1か月以内に起こるうつの症状)
- 18.その他の傷病：\*  (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 19.傷病による通院はない\* (排他)

次へ

SC4 前問で選択されたものそれぞれについて、通院の頻度を教えてください。  
 必須 (矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. ほぼ毎日	2. 1週間に2～3回程度	3. 1週間に1回程度	4. 1か月に1～2回程度	5. 3か月に1～2回程度	6. 6か月に1回程度	7. 1年に1回程度	8. 1年に1回未満
1. 悪性新生物（がん）	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 狭心症・心筋梗塞	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 糖尿病	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. うつ病やその他のこころの病気	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 関節リウマチ	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 骨粗しょう症	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. パセドウ病、橋本病	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 更年期障害	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		1. ほぼ毎日	2. 1週間に2～3回程度	3. 1週間に1回程度	4. 1か月に1～2回程度	5. 3か月に1～2回程度	6. 6か月に1回程度	7. 1年に1回程度	8. 1年に1回未満
10. 不妊症 (妊娠を望みながら1年間以上妊娠の兆しがない、不妊症について受診したことがある等)	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 性感染症 (性器クラミジア感染、性器ヘルペスウイルス感染、淋病、梅毒等)	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 子宮内膜症	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 子宮筋腫	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. 卵巣嚢腫	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. 月経困難症 (子宮筋腫や子宮内膜症で月経困難症、月経痛が強く病院にかかっている等)	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16. 妊娠・産褥期の傷病 (妊娠悪阻、妊娠浮腫、妊娠蛋白尿、妊娠中毒症、切迫流産、前置胎盤等)	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17. 産後うつ (産後約2週～1か月以内に起こるうつの症状)	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18. その他の傷病：{FA}	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q1** **必須** あなたの家族構成であてはまるものをお答えください。

- 1. 単身
- 2. 夫婦のみ
- 3. 夫婦と子のみ
- 4. ひとり親と子のみ
- 5. 夫婦と親
- 6. 3世代
- 7. その他： **(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)**

**質問表示条件**

条件式

(SC2 or 1~6,12)

**Q2** **必須** 本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員数をお答えください。  
あてはまるものをお答えください。

- 1. 1~4人
- 2. 5~29人
- 3. 30~99人
- 4. 100~299人
- 5. 300~499人
- 6. 500~999人
- 7. 1,000~4,999人
- 8. 5,000人以上
- 9. 官公庁

**Q3** あなたは現在、病気やけがなどで具合の悪いところがありますか。  
**必須** あてはまるものすべてお答えください。  
(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.熱がある          | <input type="checkbox"/> 15.痔による痛み・出血など                                       |
| <input type="checkbox"/> 2.体がだるい         | <input type="checkbox"/> 16.口腔内の不調  |
| <input type="checkbox"/> 3.眠れない          | <input type="checkbox"/> 17.発疹・かゆみ  |
| <input type="checkbox"/> 4.いらいらしやすい      | <input type="checkbox"/> 18.肩こり   |
| <input type="checkbox"/> 5.もの忘れする        | <input type="checkbox"/> 19.腰痛  |
| <input type="checkbox"/> 6.頭痛            | <input type="checkbox"/> 20.手足の関節が痛む・手足の動きが悪い・手足のしびれ                          |
| <input type="checkbox"/> 7.めまい           | <input type="checkbox"/> 21.手足が冷える  |
| <input type="checkbox"/> 8.目のかすみ・物を見づらい  | <input type="checkbox"/> 22.足のむくみやだるさ   |
| <input type="checkbox"/> 9.耳なりがする・きこえにくい | <input type="checkbox"/> 23.排尿の不調（頻尿、尿失禁、尿が出にくい・排尿時痛い）                        |
| <input type="checkbox"/> 10.動悸・息切れ       | <input type="checkbox"/> 24.月経不順・月経痛  |
| <input type="checkbox"/> 11.胸部に痛みがある     | <input type="checkbox"/> 25.妊娠に伴う体調不良（つわり、悪阻等）                                |
| <input type="checkbox"/> 12.胃腸の不調        | <input type="checkbox"/> 26.骨折・ねんざ・脱臼   |
| <input type="checkbox"/> 13.下痢           | <input type="checkbox"/> 27.その他： <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで) |
| <input type="checkbox"/> 14.便秘           | <input type="checkbox"/> 28.あてはまるものはない(併他)                                    |

質問表示条件

条件式

(性別 or 女性)

**Q4** あなたは、月経に関わる身体的な不調を感じることはありますか。  
**必須** あてはまるものすべてお答えください。  
(いくつでも)

- 1.月経痛（腰痛、腹痛、頭痛等）
- 2.月経による体調不良、精神不安
- 3.無月経（しばらく月経がない）
- 4.月経不順
- 5.貧血
- 6.月経前の不調（月経前症候群（PMS）等）
- 7.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 8.閉経している(排他)
- 9.月経に関わる不調はない(排他)

質問表示条件

条件式

((Q3 ornot 28) OR (Q4 ornot 8~9))

**Q5** あなたは、具合の悪いところや不調を治療していますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。  
※治療とは、病院や診療所（医院、歯科医院）等への通院の他、市販薬を購入して服用することを含みます。

- 1.治療するほどではない（治療は行っていない）
- 2.治療を検討している（現時点で治療は行っていない）
- 3.治療している
- 4.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

質問表示条件

条件式

((年齢 val) >= 40 )

**Q6** 肩こり、ほてり、発汗等の更年期障害に関わる症状が見られますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

※更年期に関する障害の主な症状は下記の通りです。  
顔がほてる、汗をかきやすい、腰や手足が冷えやすい、息切れ・動悸、寝つきが悪い又は眠りが浅い、怒りやすくすぐイライラする、くよくよしたり憂鬱になることがある、頭痛・めまい・吐き気がよくある、つかれやすい、肩こり・腰痛・手足の痛みがある  
※治療とは、病院や診療所（医院、歯科医院）等への通院の他、市販薬を購入して服用することを含みます。

- 1.更年期障害に関わる症状が見られるが、治療するほどではない（治療は行っていない）✖
- 2.更年期障害に関わる症状が見られ、治療を検討している（現時点で治療は行っていない）✖
- 3.更年期障害に関わる症状が見られ、治療している✖
- 4.更年期障害に関わる症状は見られない✖

質問表示条件

条件式

((Q5 or 2~3) OR (Q6 or 2~3))

**Q7** あなたは、前の設問でお答えいただいた症状はどの程度業務に支障があるとお考えですか。  
**必須** あてはまるものをすべてお答えください。  
(いくつでも)

- 1.有給休暇の取得を検討している（有給休暇は取得していない）
- 2.有給休暇を取得した
- 3.退職を検討している（退職していない）
- 4.退職した
- 5.離職を検討している（離職していない）
- 6.離職した
- 7.業務に支障はない**(排他)**

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q8** あなたは、どの程度の期間、通院をしていますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

※複数の疾病で通院中の場合、最も通院頻度の多い疾病についてお答えください。

- 1.1年未満
- 2.1～4年未満
- 3.4～7年未満
- 4.7～10年未満
- 5.10年以上

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q9** 直近の診療の通院にかかった時間（家・職場からの往復にかかる時間及び診療時間と診療や会計のための待ち時間等病院に滞在した時間の合計）はどれくらいでしたか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

※複数の疾病で通院中の場合、最も通院頻度の多い疾病についてお答えください。

- 1.30分未満
- 2.30～1時間未満
- 3.1～2時間未満
- 4.2～3時間未満
- 5.3～6時間未満
- 6.6時間以上



質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q10** 現在、治療している傷病（病気やけが）はありますか。  
**必須** あてはまるすべての傷病名をお答えください。  
(いくつでも)

※治療とは、病院や診療所（医院、歯科医院）等への通院の他、市販薬を購入して服用することを含みます。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.糖尿病*                | <input type="checkbox"/> 21.その他の消化器系の病気*  |
| <input type="checkbox"/> 2.肥満症*                | <input type="checkbox"/> 22.歯の病気*   |
| <input type="checkbox"/> 3.脂質異常症（高コレステロール血症等）* | <input type="checkbox"/> 23.アトピー性皮膚炎*   |
| <input type="checkbox"/> 4.甲状腺の病気*             | <input type="checkbox"/> 24.その他の皮膚の病気*  |
| <input type="checkbox"/> 5.うつ病やその他のこころの病気*     | <input type="checkbox"/> 25.痲風*   |
| <input type="checkbox"/> 6.認知症*                | <input type="checkbox"/> 26.関節リウマチ*   |
| <input type="checkbox"/> 7.パーキンソン病*            | <input type="checkbox"/> 27.関節症*  |
| <input type="checkbox"/> 8.その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）* | <input type="checkbox"/> 28.肩こり症*   |
| <input type="checkbox"/> 9.眼の病気*               | <input type="checkbox"/> 29.腰痛症*  |
| <input type="checkbox"/> 10.耳の病気*              | <input type="checkbox"/> 30.骨粗しょう症*   |
| <input type="checkbox"/> 11.高血圧症*              | <input type="checkbox"/> 31.腎臓の病気*  |
| <input type="checkbox"/> 12.脳卒中（脳出血、脳梗塞等）*     | <input type="checkbox"/> 32.前立腺肥大症*   |
| <input type="checkbox"/> 13.狭心症・心筋梗塞*          | <input type="checkbox"/> 33.閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）*                                       |
| <input type="checkbox"/> 14.その他の循環器系の病気*       | <input type="checkbox"/> 34.貧血・血液の病気*   |
| <input type="checkbox"/> 15.アレルギー性鼻炎*          | <input type="checkbox"/> 35.悪性新生物（がん）*  |
| <input type="checkbox"/> 16.慢性閉塞性肺疾患（COPD）*    | <input type="checkbox"/> 36.妊娠*   |
| <input type="checkbox"/> 17.喘息*                | <input type="checkbox"/> 37.妊娠・産褥期の傷病（妊娠悪阻、妊娠浮腫、妊娠蛋白尿、妊娠中毒症、切迫流産、前置胎盤等）*              |
| <input type="checkbox"/> 18.その他の呼吸器系の病気*       | <input type="checkbox"/> 38.不妊症*  |
| <input type="checkbox"/> 19.胃・十二指腸の病気*         | <input type="checkbox"/> 39.その他：* <input type="text"/> <b>(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)</b> |
| <input type="checkbox"/> 20.肝臓・胆のうの病気*         |   |

質問表示条件

条件式

(Q10 or 35)

**Q11** 傷病の詳細について、あてはまるものをすべてお答えください。  
**必須** (いくつでも)

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1.胃がん    | <input type="checkbox"/> 8.子宮体がん  |
| <input type="checkbox"/> 2.大腸がん   | <input type="checkbox"/> 9.食道がん   |
| <input type="checkbox"/> 3.肺がん    | <input type="checkbox"/> 10.前立腺がん   |
| <input type="checkbox"/> 4.乳がん    | <input type="checkbox"/> 11.甲状腺がん   |
| <input type="checkbox"/> 5.肝がん    | <input type="checkbox"/> 12.卵巣がん  |
| <input type="checkbox"/> 6.悪性リンパ腫 | <input type="checkbox"/> 13.その他： <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで) |
| <input type="checkbox"/> 7.子宮頸がん  |   |

**Q12** 下記の症状について、あてはまるものをお答えください。  
**必須** (矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. 治療中	2. 経過観察中	3. 完治済	4. 罹り経験なし	5. その他
						
1. 関節リウマチ	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 骨粗しょう症	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. パセドウ病、橋本病	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 更年期障害	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
不妊症 5. (妊娠を望みながら1年間以上妊娠の兆しがない、不妊症について受診したことがある等)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性感染症 6. (性器クラミジア感染、性器ヘルペスウイルス感染、淋病、梅毒等)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
						
7. 子宮内膜症	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 子宮筋腫	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 卵巣嚢腫	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
月経困難症 10. (子宮筋腫や子宮内膜症で月経困難症、月経痛が強く病院にかかっている等)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妊娠・産褥期の傷病 11. (妊娠悪阻、妊娠浮腫、妊娠蛋白尿、妊娠中毒症、切迫流産、前置胎盤等)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
産後うつ 12. (産後約2週～1か月以内に起こるうつの症状)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**質問表示条件**

条件式  
(SC3 or 1~18)

**Q13 必須** 通院頻度のもっとも多い傷病の罹患時の就業状況としてあてはまるものをお答えください。

- 1. 正規の職員・従業員
- 2. パート
- 3. アルバイト
- 4. 労働者派遣事業所の派遣社員
- 5. 契約社員
- 6. 嘱託
- 7. 会社・団体等の役員
- 8. 自営業主（雇人あり）
- 9. 自営業主（雇人なし）
- 10. 家族従業者（自家営業の手伝い）
- 11. 内職
- 12. その他： **(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)**

**質問表示条件**

条件式  
(SC3 or 1~18)

**Q14 必須** 通院頻度のもっとも多い傷病罹患後の就業状況としてあてはまるものをお答えください。  
(疾病罹患直後から1年程度の状況をお答えください)

※1年経過していない方は最近の状況をお答えください。

- 1. 同じ会社・配属先で勤務
- 2. 同じ会社で配置転換
- 3. 自営業・自由業を継続
- 4. 休職・休業
- 5. 依頼退職
- 6. 解雇
- 7. 廃業
- 8. その他： **(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)**

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q15** 通院頻度のもっとも多い傷病の治療に際して離職を検討したことはありますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。  
(疾病罹患直後から1年程度の状況をお答えください)

※1年経過していない方は最近の状況をお答えください。

- 1. 離職した
- 2. 検討したが離職しなかった
- 3. 検討しなかった

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q16** あなたは、治療しながら働くうえで、どのような制度を利用していますか。  
**必須** あてはまるものをすべてお答えください。  
(いくつでも)

- 1. 治療目的の休暇・休業制度
- 2. 時間単位の有給休暇の取得
- 3. 失効年次有給休暇の積立制度
- 4. 在宅勤務制度
- 5. 所定労働時間を短縮する制度
- 6. 時差出勤制度
- 7. フレックスタイム制度
- 8. 残業の禁止
- 9. 慣らし出勤制度
- 10. その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 11. 制度はあるが利用したことはない(排他)
- 12. 利用できる制度がない(排他)

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q17** 現在、仕事と治療を両立できていると思いますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

- 1.できている
- 2.どちらかと言えばできている
- 3.どちらかと言えばできていない
- 4.できていない

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q18** 現在、あなたの体の不調について上司や同僚は理解があると思いますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

- 1.大変理解がある
- 2.どちらかと言えば理解がある
- 3.どちらかと言えば理解がない
- 4.ほとんど理解がない

**Q19** あなたの職場の身の回りには、治療しながら就業している方はいますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。  
(「治療」とは月1回以上、定期的に通院していること等を指します)

- 1.いる
- 2.いない
- 3.わからない

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q20-1** 治療と仕事を両立するうえで課題であると感じることはありますか。  
**必須** あてはまるものをすべてお答えください。  
(いくつでも)

- 1. 時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの両立支援制度がない
- 2. 配置転換や仕事内容の変更等を申し出る仕組みがない
- 3. 時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの仕組みはあるが、職場の上司や同僚の理解が乏しく、利用しにくい雰囲気である
- 4. 病気や治療について職場で打ち明けづらい雰囲気である
- 5. 両立支援制度等について、会社に相談できる窓口がない
- 6. 産業医や産業看護師等が相談に乗ってくれる体制がない
- 7. 通勤が体力的に困難である
- 8. 休業や短時間勤務等により、人事評価が下がる
- 9. 休業や短時間勤務等により、退職勧奨や降格、希望しない配置転換などの人事上の不利益を受ける
- 10. 働き方を変えたり、休職することで収入が減少する
- 11. 治療費を確保するために、収入が減少する勤務形態を選択できない(罹患前の勤務形態を変更できない等)
- 12. 主治医や担当看護師等に仕事のことを相談しにくい
- 13. その他:  (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 14. 課題だと感じることは特にない(その他)

質問表示条件

条件式

(SC3 or 19)

**Q20-2** 治療と仕事を両立させることになった場合、課題であると感じることはありますか。  
**必須** あてはまるものをすべてお答えください。  
 (いくつでも)

- 1. 時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの両立支援制度がない
- 2. 配置転換や仕事内容の変更等を申し出る仕組みがない
- 3. 時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの仕組みはあるが、職場の上司や同僚の理解が乏しく、利用しにくい雰囲気である
- 4. 病気や治療について職場で打ち明けづらい雰囲気である
- 5. 両立支援制度等について、会社に相談できる窓口がない
- 6. 産業医や産業看護師等が相談に乗ってくれる体制がない
- 7. 通勤が体力的に困難である
- 8. 休業や短時間勤務等により、人事評価が下がる
- 9. 休業や短時間勤務等により、退職勧奨や降格、希望しない配置転換などの人事上の不利益を受ける
- 10. 働き方を変えたり、休職することで収入が減少する
- 11. 治療費を確保するために、収入が減少する勤務形態を選択できない(罹患前の勤務形態を変更できない等)
- 12. その他:  (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 13. 課題だと感じることは特にない(非他)

質問表示条件

条件式

(SC3 or 1~18)

**Q21** あなたは疾病罹患後、仕事を続けるうえで、気を付けるようになったことはありますか。  
**必須** あてはまるものを5つまでお答えください。  
 (5つまで)

- 1. 仕事を効率的にすすめること
- 2. 仕事の質を落とさないこと
- 3. 時間内に確実に仕事を終えること
- 4. 職場の同僚とコミュニケーションをとること
- 5. 上司とコミュニケーションをとること
- 6. 顧客や取引先とコミュニケーションをとること
- 7. 仕事と治療・育児・介護等を両立している人とコミュニケーションをとること
- 8. 職場の同僚・上司に仕事を引き継げるようにしておくこと
- 9. スキルアップを図ること
- 10. 決めた時間に仕事が終わらなくても確実に帰ること
- 11. その他:  (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)



**Q22** **必須** あなたは過去1年間に、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。  
あてはまるものをすべてお答えください。  
(いくつでも)

- 1.市町村が実施した健診を受診
- 2.勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診を受診
- 3.学校が実施した健診を受診
- 4.人間ドック（上記1～3以外の健診で行うもの）を受診
- 5.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 6.受けていない(排他)

**Q23** **必須** あなたは下記のがん検診を受けましたか。  
胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は過去1年間以内の状況を、子宮がん検診、乳がん検診は過去2年間以内の状況にあてはまるものをすべてお答えください。  
(矢印方向にそれぞれいくつでも)

	1. 市区町村が実施した検診を受けた	2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診を受けた	3. 1、2以外の検診を受けた	4. 受けなかった (排他)
1. 胃がん検診 ➡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 肺がん検診 ➡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 大腸がん検診 ➡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 子宮がん検診 ➡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 乳がん検診 ➡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**Q24** あなたは日ごろ、健康のために次のような事項を実行していますか。  
**必須** あてはまるものをすべてお答えください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている         | <input type="checkbox"/> 7.たばこを吸わない  |
| <input type="checkbox"/> 2.バランスのとれた食事をしている             | <input type="checkbox"/> 8.お酒を飲み過ぎないようにしている  |
| <input type="checkbox"/> 3.うす味のもの食べている                 | <input type="checkbox"/> 9.ストレスをためないようにしている  |
| <input type="checkbox"/> 4.食べ過ぎないようにしている               | <input type="checkbox"/> 10.その他： <input type="text"/> <b>(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)</b> |
| <input type="checkbox"/> 5.適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている | <input type="checkbox"/> 11.特に何もしていない <b>(排他)</b>                                    |
| <input type="checkbox"/> 6.睡眠を十分にとっている                 |  |

**Q25** あなたは、普段、運動不足を感じますか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

- 1.大いに感じる
- 2.ある程度感じる
- 3.あまり感じない
- 4.ほとんど(全く)感じない
- 5.わからない

ここからは、ご家族等の介護についてお聞きします。

**Q26** あなたは、障がいや身体機能の低下などによる家族等の手助けや見守りをしていますか。あてはまるものをお答えください。  
**必須**

- 1.はい
- 2.いいえ

質問表示条件

条件式

(Q26 or 1)

**Q27** 主に介護をしている方の1日の平均的な介護時間はどのくらいですか。  
**必須** あてはまるものをお答えください。

- 1.ほとんど終日
- 2.半日程度
- 3.2～3時間程度
- 4.必要な時に手をかす程度
- 5.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)